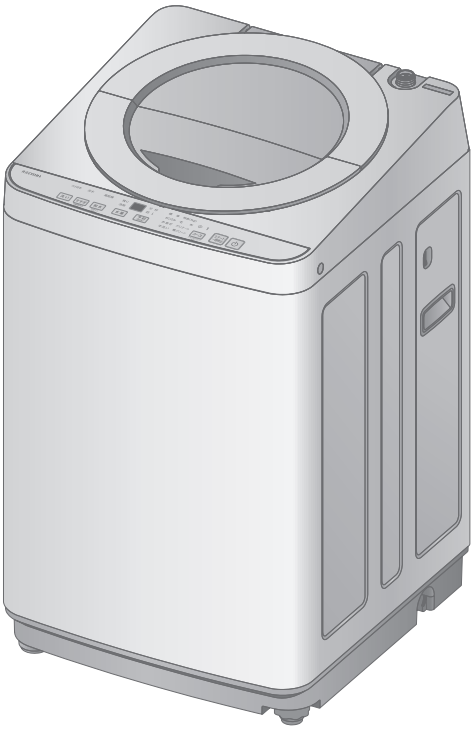
取扱説明書（WEB）

全自動電気洗濯機

型番：TEW-M601H［室内・家庭用］



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
  無償保証の対象外となることがあります。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- **ご使用の前に「安全上の注意 P7」を必ずお読みください。**
- WEB マニュアルの使いかたは、「WEB マニュアルの使いかた P2」をご確認ください。
- 本書に使用している写真・イラストは説明のためのイメージであり、実物とは多少異なる場合があります。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

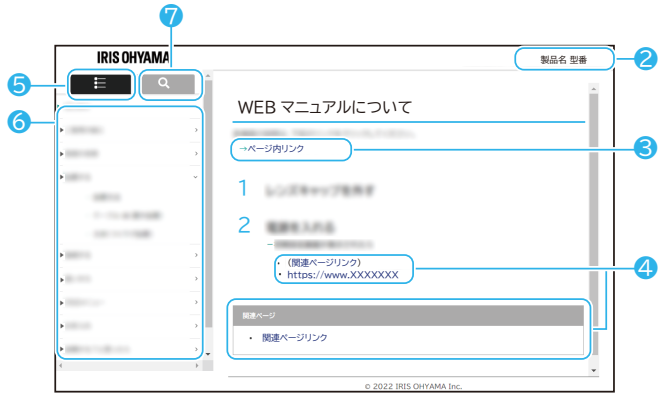
ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
・Microsoft Edge ブラウザ（最新版）
・Google Chrome ブラウザ（最新版）

◆WEB マニュアルについて

■スマートフォン

■パソコン



❶ メニュー一覧/検索 切替ボタン（スマートフォンのみ）

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

× を押すと元の画面に戻ります。

❷ 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

❸ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

❹ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

❺ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

❻ メニューリスト

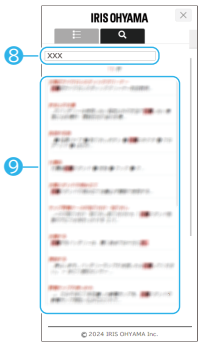
メニュー一覧を表示させます。

❼ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

◆検索について

■スマートフォン



■パソコン

⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に. 7

安全上の注意. 7

使用上の注意. 11

各部の名称. 12

操作パネル. 13

洗濯・脱水槽. 15

付属品. 16

洗濯物について. 17

取り扱いかた. 19

洗濯前の準備. 19

洗剤・柔軟剤を投入するときは. 23

洗濯. 27

標準・お急ぎコース. 28

おこのみコース. 30

毛布コース. 32

手洗いコース. 35

コースの設定を変更して洗濯する. 39

タイマー予約洗濯. 41

コース一覧. 43

運転内容の変更. 46

チャイルドロック・ふたロック. 53

お手入れ. 54

お手入れについて. 54

糸くずフィルター. 55

本体外側. 57

洗剤投入ケース、柔軟剤投入口. 58

槽クリーン. 60

槽乾燥. 62

こんなときは. 63

困ったときは. 63

こんな表示が出たときは. 70

その他の情報. 72

仕様. 72

長期使用製品について. 73

保証とアフターサービス. 74

保証規定. 75

お問い合わせ. 76

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この**「安全上の注意」**をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ 警告 P7

→ 注意 P9

図記号の意味

	注意を促す記号です。		禁止を示す記号です。		必ず行うことを示す記号です。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	・**電源プラグのほこりは定期的に取る** ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 ・**電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む** ショートによる火災・感電の原因になります。 ・**電源は交流 100V、定格 15A 以上のコンセントを単独で使う** 発火・火災の原因になります。
プラグを抜く	・**お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く** 感電・やけど・けがの原因になります。
ぬれ手禁止	・**ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない** 感電・やけど・けがの原因になります。
	・**電源コードを束ねて通電しない** 過熱して火災・やけどの原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 ・**電源コードを傷付けない** ・**電源コードを引っ張らない** 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・**洗濯機を電源プラグに押しつけない** 据え付け時に、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。

	・**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない** ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコール P76(電話をかける)へお問い合わせください。

据え付けについて

	・**水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない** ・**ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない** 火災の原因になります。

接触禁止	・**回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない** ゆるい回転でも、洗濯物が巻きついて大けがの原因になります。回転が完全に止まるまでは洗濯物や洗濯・脱水槽に絶対に触れないでください。
水ぬれ禁止	・**本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない** 火災・感電の原因になります。
アースを接続	・**アースを必ず取り付ける** 感電・やけど・けがの原因になります。 ・**アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない** 爆発・火災の原因になります。
	・**ふたが破損したり、脱水中にふたを開けたときに洗濯・脱水槽が停止しないときは、直ちに使用を中止する** 事故の原因になります。お買い上げの販売店またはアイリスコール P76(電話をかける)へ修理を依頼してください。
感電注意	・**雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない** 感電のおそれがあります。
分解禁止	・**分解・修理・改造をしない** 火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコール P76(電話をかける)にご相談ください。
	・**子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない** ・**近くに子どもが乗りやすい台などを置かない**

	・**子どもや、補助が必要な人に１人で使わせない** 洗濯・脱水槽に落ちて、けがをしたりおぼれたりする原因になります。
プラグを抜く	・**異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く** 発煙・火災・感電のおそれがあります。 〔異常の例〕 - 異常な音やにおいがする - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする - 運転中時々電源が切れる - 触れるとピリピリ電気を感じる ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P76（電話をかける）へお問い合わせください。

注意　**誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生する内容を示しています。**

プラグを抜く	・**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く** 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・**長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く** 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
	・**40℃以上のお湯を使用しない** ・**給湯器につながない** プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。
	・**上に乗ったり、寄りかかったりしない** ・**重いものを載せない** 転倒事故などの原因になります。
	・**スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）** ・**引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のものを入れない** 火災の原因になります。

火気禁止	・**可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを入れたり近づけたりしない** 火災の原因になります。
	・**防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない** 洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。 風乾燥も使用しないでください。 ・**防水性のもの・水を通しにくいもの** レインコート・サウナスーツ・ウエットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シート・玄関マット・バスマット ・**衣類を入れすぎない** 運転中に衣類が洗濯・脱水槽から飛び出して、衣類が損傷したり、洗濯機の部品の破損の原因になります。
	・**洗濯機の下に手や足などを入れない** 回転部などに触れるとけがの原因になります。かさ上げ台などを使用すると、床面とのすき間が大きくなるのでご注意ください。
	・**衣類の洗濯以外に使用しない** ・**業務用など家庭用以外に使用しない** 本製品は家庭用の衣類用洗濯機として設計されています。業務用や衣類以外に使用すると、故障の原因になります。

据え付けについて

	・**キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない** ・**高いところに据え付けない** 脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。
	・**確実に排水できる場所に据え付ける** 水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。

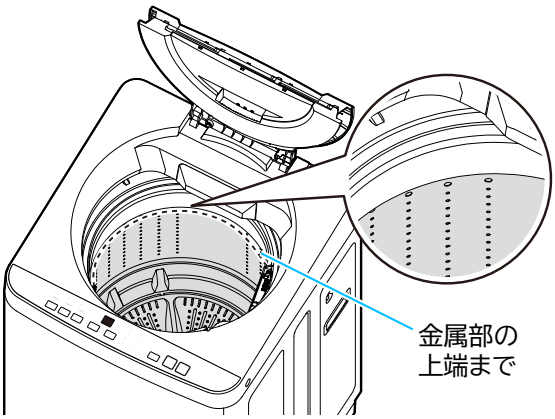
	・**給水ホースは確実に接続する** ・**運転前に、水栓を開けて、給水ホースの接続部から水がもれていないことを確認する** ねじなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。 ・**運転後は水栓を閉じる** 水もれの原因になります。

使用上の注意

- **本体(特にふたや操作パネル)に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐにしぼったタオルなどで拭き取ってください。**
  印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れることがあります。

- **洗剤は入れすぎないでください。**
  すすぎが不十分になったり、泡が飛んで周囲をぬらす原因になります。

- **洗濯物を入れすぎないでください。**
  洗濯物の傷み、洗濯機の破損・故障の原因になります。



- **使用後は万一の水もれを防止するために、水栓を閉めてください。**

- **ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。**
  ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

- **スピーカーや IH 調理器(電磁調理器)など磁気の出る機器の近くには据え付けしないでください。**

- **洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。**
  正常に動作しないことがあります。

- **スタート 一時停止 を押して洗濯を開始した後は、洗い・すすぎ・脱水・コースについては変更できません。**
  水量のみ変更できます。

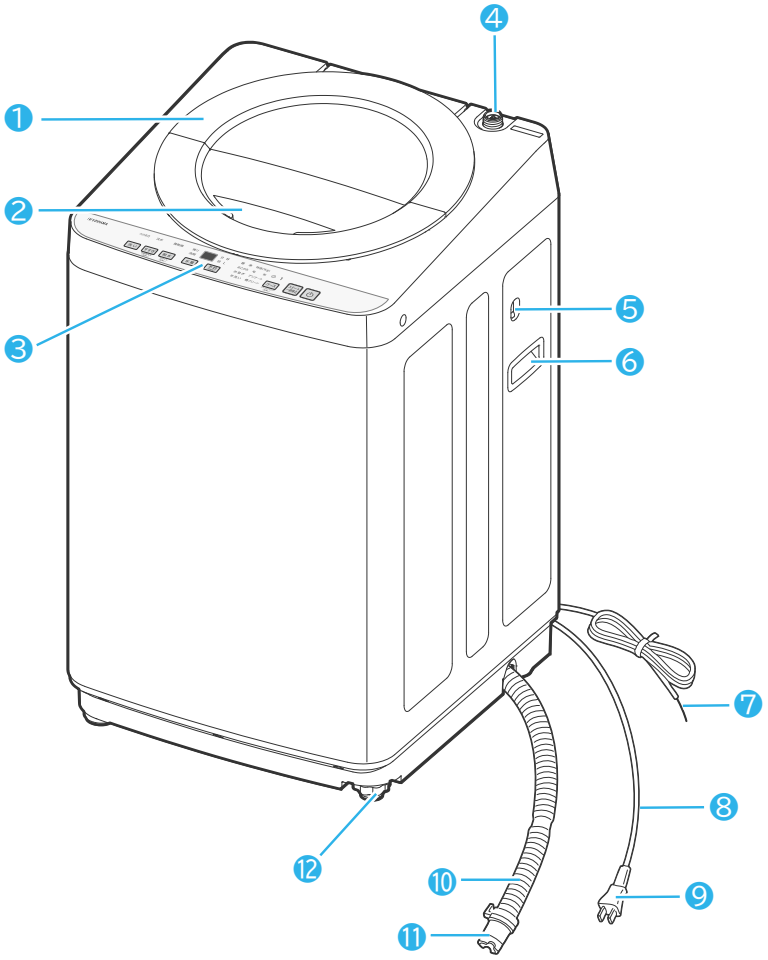
－廃棄について

- **製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。**

子どもを含む、補助を必要とする方がこの機器を使用する場合は、安全管理を行う方の付き添いおよび指示のもとで行ってください。小さな子どもやペットが洗濯槽に誤って落下および作動させないでください。

各部の名称

ー前面



❶ ふた

❷ ふた取っ手

❸ 操作パネル

❹ 給水口

❺ 排水ホースかけ

❻ 取っ手

❼ アース線

❽ 電源コード

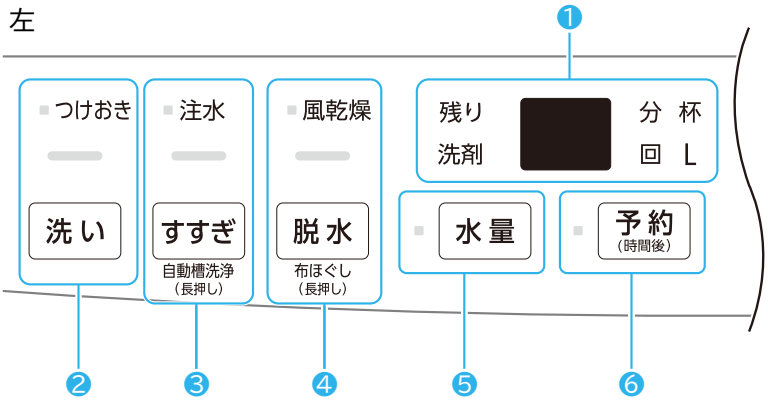
❾ 電源プラグ

❿ 排水ホース

⓫ スリーブ

⓬ 調節脚

操作パネル



❶ 表示部

残り時間（目安）や予約時間、各工程の設定時間／回数、お知らせ表示などを表示します。

❷ 洗いランプ・ボタン

コースを選んだ後でボタンを押すと、洗い時間を変更することができます。

洗い工程が設定されていると点灯し、洗い運転中に点滅します。

つけおきランプが点灯している場合は、つけおき工程から運転を開始します。

→つけおきについて P49

❸ すすぎランプ・ボタン

コースを選んだ後でボタンを押すと、すすぎ回数を変更することができます。

すすぎ工程が設定されていると点灯し、すすぎ運転中に点滅します。

注水ランプが点灯している場合は、すすぎ工程が注水すすぎになります。

ボタンを長押しすると、自動槽洗浄機能の入・切の切り替えをします。

→注水すすぎについて P49

❹ 脱水ランプ・ボタン

コースを選んだ後でボタンを押すと、脱水時間を変更することができます。

脱水工程が設定されていると点灯し、脱水運転中に点滅します。

風乾燥ランプが点灯している場合は、風乾燥になります。

ボタンを長押しすると、布ほぐし機能の入・切の切り替えをします。

→風乾燥について P52

❺ 水量ランプ・ボタン

水量が設定されていると点灯します。

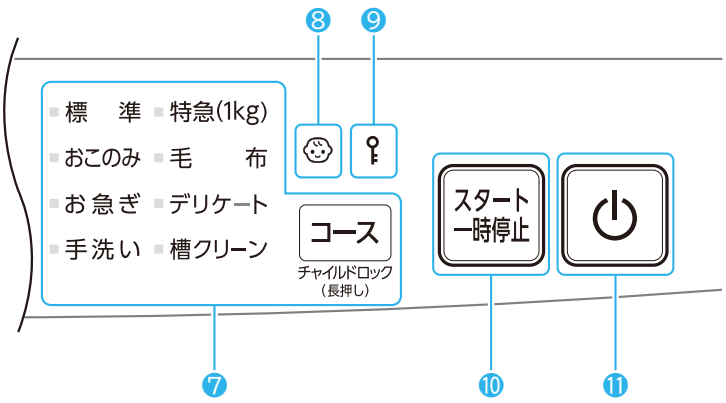
水量ボタンを押して、手動で水量を変更することもできます。

❻ 予約ランプ・ボタン

予約時間が設定されていると点灯します。

何時間後に運転終了させるかを設定することができます。

右



⑦コースボタン・表示

洗濯のコースを選びます。

ボタンを長押しすると、チャイルドロックの入・切の切り替えをします。

⑧チャイルドロックランプ

チャイルドロックモードを入にすると点灯します。

⑨ふたロックランプ

ふたがロックされているときに点灯します。

⑩スタート／一時停止ボタン

運転を開始するとき、一時停止するときに押します。

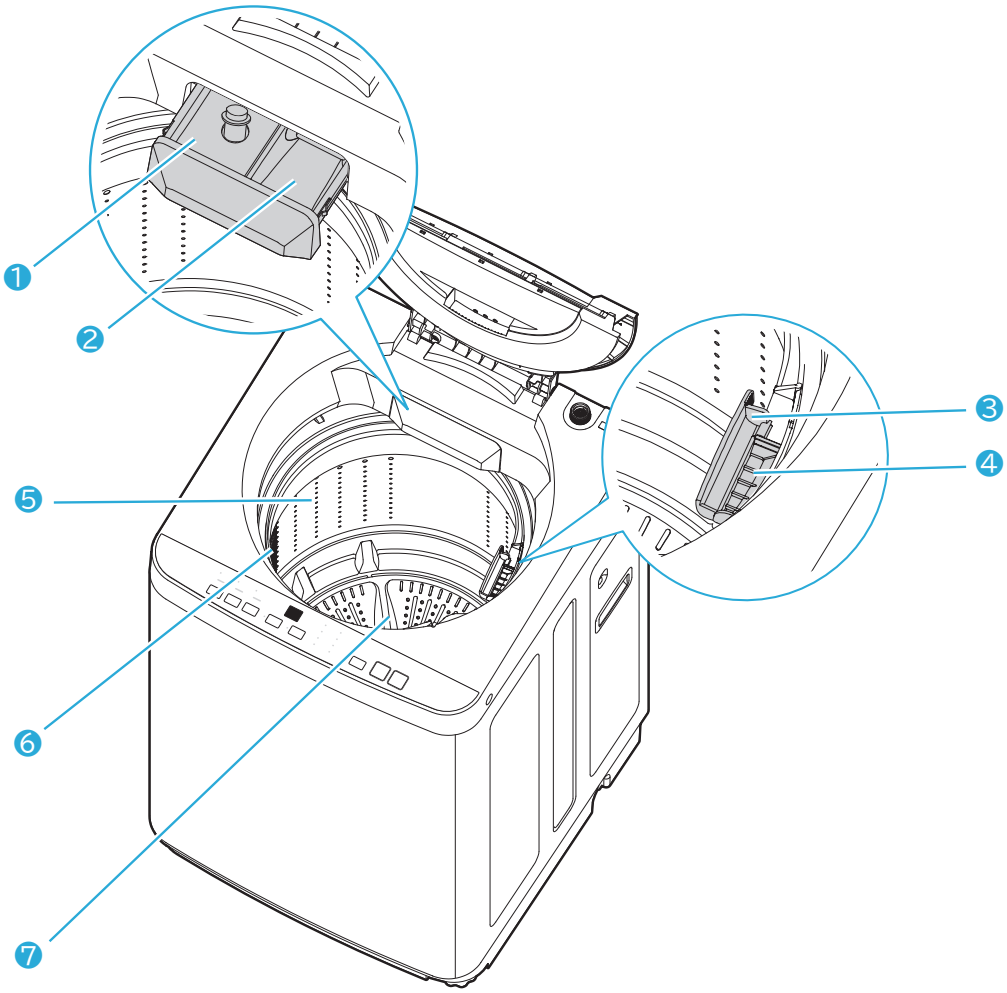
一時停止すると、ふたロックが解除されます。

⑪電源ボタン

電源を入・切します。

運転終了時は電源が切れます。

洗濯・脱水槽



❶ 液体洗剤投入口

❷ 粉末合成洗剤・漂白剤投入口

❸ 柔軟剤投入口ふた

❹ 柔軟剤投入口

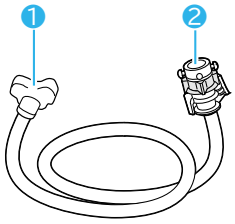
❺ パルセーター

❻ 糸くずフィルター

❼ 洗濯・脱水槽

付属品

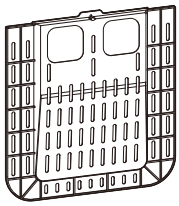
給水ホース（約 0.8 m）



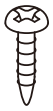
❶ 給水ナット

❷ ホース継手

保護カバー



ねじ



洗濯物について

ー洗濯できないもの

洗濯物の縮み・形くずれ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

- **以下の洗濯絵表示のあるもの**

	家庭での水洗いはできない または洗濯処理はできない
	石油系ドライクリーニング

- **取り扱い絵表示や素材表示のないもの**
- **皮革・毛皮・羽などが使われている製品**
- **和服・和装小物**
- **ネクタイ・スーツ・コート**
- **レーヨン・キュプラおよびそれらの混紡が使われている製品**
- **絹製品**
- **ベルベットなどのパイル地製品**
- **強撚糸（強くよじった糸）を使用した製品（ウール・ちりめんなど）**
- **毛 100%または毛足 10mm 以上の毛布やカーペットカバー**
- **くつ**
- **コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品**

厚手のタオル地の衣類や、柔道着などは、うまく脱水できないことがあります。単独での洗濯ではなく、複数枚での洗濯や、他の衣類と一緒に洗濯をしてください。

ー脱水できないもの

脱水時の異常振動などにより、衣類の傷みや洗濯機の破損の原因になります。

- **防水性製品（洗濯できる表示があっても洗わない）**
- **裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手のもの（玄関マット・ラグマット・敷物など）**
- **カーペット**
- **座ぶとん・まくら・クッションなど**
- **ペットなどの毛が多量に付着したもの**
- **市販の洗濯補助具（洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど）**

－風乾燥ができないもの

洗濯物の縮み・しわつき・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

- **以下の取り扱い絵表示のあるもの**

ドライ P	ドライクリーニング
ヨワク	弱くしぼるのがよい
	つり干しがよい
	しぼってはいけない

- **ゴムやウレタンなどを使用した製品**
- **わたやウレタンの入ったマット・ふとん・ぬいぐるみなど**
- **ウールおよびウール混紡製品**
- **色落ち・色移りしやすいもの**
- **しわがつきやすい製品**

その他、洗濯・脱水できない製品は、風乾燥もできません。

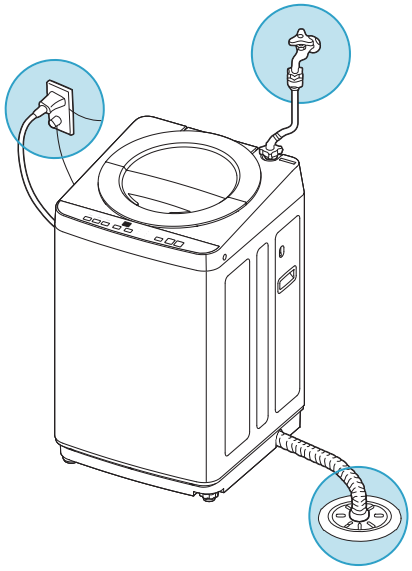
取り扱いかた

洗濯前の準備

据え付けの確認

初めて使用するときは、据え付け状態の確認をしてください。

また、定期的に、据え付け状態に異常がないか確認してください。



1

電源コード

- 電源プラグがコンセントの奥までしっかり差し込まれているか
- アースが接続されているか

排水ホース

- 確実に排水口に取り付けられているか
- 排水が止まらないように高さ 10cm 以内に収まっているか
- 排水ホースが脚などにはさまっていないか

給水ホース

- 水栓(蛇口)の接続は、付属の給水ホースを使用して、ワンタッチ接手で接続しているか
- 本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締めてあるか
- 接続部分にゆるみやがたつきがないか
- 水栓(蛇口)にさびは発生していないか

※給水栓は、ストッパー付きの給水栓をおすすめします。(据付説明書参照)

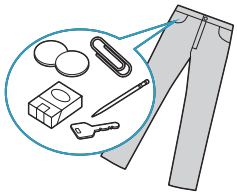
本体

- 水平に設置されているか
- がたつきはないか
- 排水ホースや給水ホース、水栓(蛇口)を圧迫していないか

洗濯物を確認する

ポケットの中のもの(硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂など)は取り除く

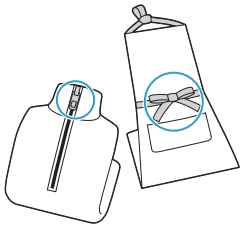
- 洗濯物の傷みや排水経路の詰まり・破れ、洗濯・脱水槽の破損の原因になります。



ひもなどは結ぶ
ファスナーは閉める
ボタンや面ファスナーはとめる

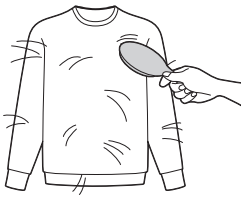
- 洗濯物がすれたり、からまったりして、傷む原因になります。

2



髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす

- 排水経路が詰まり原因になります。



起毛素材(コーデュロイなど)・毛玉のできやすいセーター・特殊印刷のある T シャツなどは裏返す

- 摩擦や撹拌などで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯用ネットに入れてください。

3

洗濯物を分ける

色落ちしやすいもの・濃い色のものと、白いもの・色の薄いものを分ける

- 色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分で、
  白いタオルなどに洗剤液を含ませたものを押しつけ、
  色落ちしないか確認してください。
- 色落ちするものは、色ごとに分けて洗ってください。

糸くずが出やすいものと、糸くずが目立つものを分ける

- タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。
- コーデュロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、
  糸くずが出やすいものと分けるか、市販の糸くず防止ネットに入れて洗ってください。

デリケートな洗濯物は市販の洗濯用ネットに入れる

- レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・
  ストッキングやタイツなどは洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- ワイヤー入りブラジャーは、市販のブラジャー専用洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- くつ下などの軽い洗濯物は、脱水時に飛ばされて洗濯・脱水槽と本体のすき間に入り、
  故障の原因になることがあります。
  軽い洗濯物は洗濯用ネットに入れて洗ってください。

4

洗濯物を入れる

- 洗濯のコースによって、洗濯できる量が決まっています。次の表を目安に、最大量を超えないように入れてください。

コース	用途	洗濯できる量
標準 P28 おこのみ P30	ふだんの洗濯	6.0kg まで
お急ぎ P28	時間を短縮して 洗濯する	3.0kg まで
手洗い P35	手洗いのように やさしく洗濯する	1.0kg まで
特急（1 kg）	少量の軽い汚れを 短時間で洗濯する	化繊 1.0kg まで
毛布 P32	毛布を洗濯する	2.0kg まで
デリケート	布傷みを抑えて 洗濯する	3.0 kgまで

※素材によって重さが異なるので、慣れないうちは少なめに入れてください。

※汚れ落ちや脱水のしぼり具合をよくするために、少なめの量で洗濯をおすすめします。

※ひもなどが出ている場合は、できるだけ結んでください。洗濯・脱水槽から飛び出て、衣類の損傷や洗濯機の故障の原因になります。

衣類の重さ（目安）

パジャマ上下
（綿）
約 500g

スカート
（混紡）
約 400g

ワイシャツ
（混紡）
約 200g

アンダーシャツ
（綿）
約 130g

シーツ
（綿）
約 500g

バスタオル
（綿）
約 300g

タオル
（綿）
約 70g

ブリーフ
（綿）
約 50g

くつ下
（混紡）
約 50g

洗濯物の入れかた

重いもの・水に浮きやすいもの・洗濯用ネットに入れた洗濯物から先に入れる

- 水に浮きやすい衣類の例
  表地や裏地が化繊 100%のジャンパーなど
  フリースなど化繊 100%、または混紡の衣類

洗濯物はできるだけ均一に入れ、よく押し込む

- タオルケットやシーツ・洗濯用ネットに入れた洗濯物は、必ず他の洗濯物と一緒に洗ってください。洗濯物が 1 箇所に固まるため、脱水時の振動が大きくなります。
- 水に浮きやすいものだけのときは、給水後いったん運転を停止して、上から押さえ、洗剤液を十分にしみ込ませてください。
- 上から押さえても洗剤液がしみ込まないものは、洗わないでください。

洗剤・柔軟剤を投入するときは

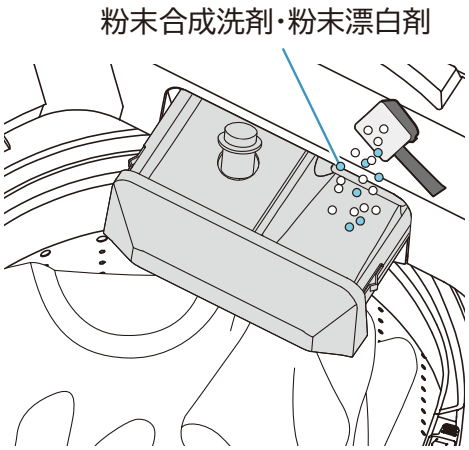
運転開始後に水量のランプを目安に、洗剤・柔軟剤に付属している計量キャップ・計量スプーンで入れてください。

－粉末合成洗剤・粉末漂白剤を入れる P23

－液体洗剤を入れる P24

－柔軟剤を入れる P24

－粉末合成洗剤・粉末漂白剤を入れる

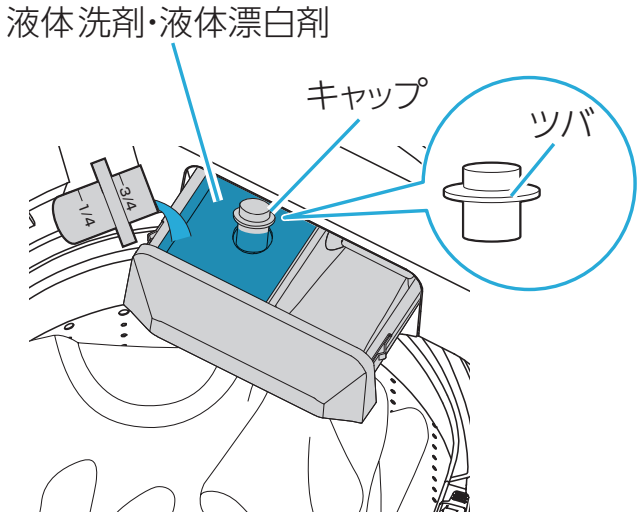


- 粉末合成洗剤は、入れすぎないでください。洗剤が固まって残ることがあります。
- 漂白剤の量は、漂白剤の説明書きにしたがってください。

粉せっけんの使用方法

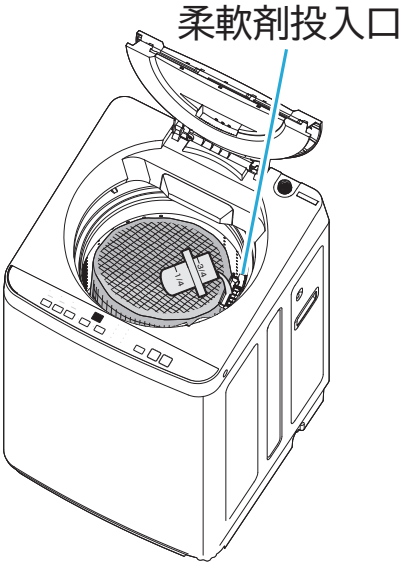
- 粉せっけんは、約 30℃のぬるま湯約 5L をかき回しながら、少しずつ入れて洗剤液を作り、洗濯物の量検知後、約 1 分間の待機時間内に、洗濯・脱水槽に入れてください。

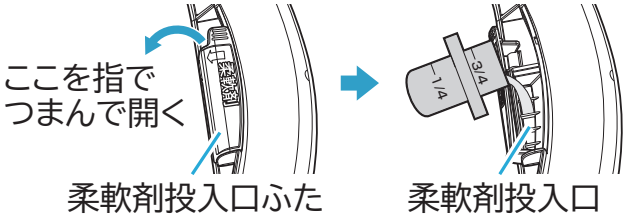
液体洗剤・液体漂白剤を入れる



- 液体洗剤はキャップのツバより多く入れないでください。
  運転開始前に全部流れ出てしまい、効果が出ません。
- 運転終了後、洗剤ケースに少し水が残る場合がありますが、異常ではありません。

柔軟剤を入れる





- 柔軟剤投入口のふたを開けて投入してください。投入後はふたを閉めてください。
- 柔軟剤は入れすぎないでください。先に流れてしまうことがあります。

- 種類によっては流れにくいものもあります。同量の水で溶かしてから入れてください。
- 少量の水と混ざると固まるものがあります。柔軟剤の説明書きにしたがってください。
- 柔軟剤投入口の位置は、洗濯・脱水槽の回転によって変わります。
- 柔軟剤が入れにくいときは、洗濯・脱水槽を手で回して（右回転のみ）ください。
- 脱水のときに、洗濯物の片寄りを検知すると、給水して片寄りを修正します。
  このため、柔軟剤の効きが弱くなる場合があります。
- すすぎを 3 回に設定した場合、柔軟剤の効きが弱くなる場合があります。

注意

スタート／一時停止ボタンを押した後は、洗濯・脱水槽に触れないでください。

洗剤・柔軟剤・漂白剤投入量の目安

合成洗剤（粉末）

衣類の目安量	水量表示	洗剤量の目安	水 30L あたりの必要量	
			18g／30L	30g／30L
～約 6kg	45L	0.7 杯	27g	45g
～約 3kg	34L	0.6 杯	20g	34g
～約 1kg	22L	0.3 杯	13g	22g
手動設定	13L	0.2 杯	8g	13g

合成洗剤（液体）

衣類の目安量	水量表示	洗剤量の目安	水 30L あたりの必要量		
			10mL／30L	25mL／30L	30mL／30L
～約 6kg	45L	0.7 杯	15mL	38mL	45mL
～約 3kg	34L	0.6 杯	11mL	28mL	34mL
～約 1kg	22L	0.3 杯	7mL	18mL	22mL
手動設定	13L	0.2 杯	4mL	11mL	13mL

合成洗剤（液体中性）

衣類の目安量	水量表示	洗剤量の目安	水 30L あたりの必要量
			40mL／30L
～約 6kg	45L	0.7 杯	60mL
～約 3kg	34L	0.6 杯	45mL
～約 1kg	22L	0.3 杯	29mL
手動設定	13L	0.2 杯	17mL

柔軟剤

衣類の目安量	水量表示	洗剤量の目安	水 30L あたりの必要量		
			7mL／30L	10mL／30L	16mL／30L
～約 6kg	45L	0.7 杯	11mL	15mL	24mL
～約 3kg	34L	0.6 杯	8mL	11mL	18mL
～約 1kg	22L	0.3 杯	5mL	7mL	12mL
手動設定	13L	0.2 杯	3mL	4mL	7mL

酸素系液体漂白剤

衣類の目安量	水量表示	洗剤量の目安	水 30L あたりの必要量
			20mL／30L
～約 6kg	45L	0.7 杯	30mL
～約 3kg	34L	0.6 杯	23mL
～約 1kg	22L	0.3 杯	15mL
手動設定	13L	0.2 杯	9mL

- **お急ぎ・特急（1kg）**コースでは、すすぎ 1 回対応の洗剤を使用してください。
- **毛布**コースでは、液体洗剤を使用してください。
- **手洗い**コースでは、液体中性洗剤を使用してください。
- 洗剤・柔軟剤の容器に記載の「水 30L に対する使用量」をご確認ください。
- 表にない洗剤・柔軟剤は、容器に記載の説明をご確認ください。

洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

洗濯

コースを選ぶ

コース	用途
標準 P28 おこのみ P30	ふだんの洗濯
お急ぎ P28	時間を短縮して洗濯する
手洗い P35	手洗いのように やさしく洗濯する
特急(1 kg)	少量の軽い汚れを 短時間で洗濯する
毛布 P32	毛布を洗濯する
デリケート	布傷みを抑えて洗濯する

運転内容を変更して洗濯する

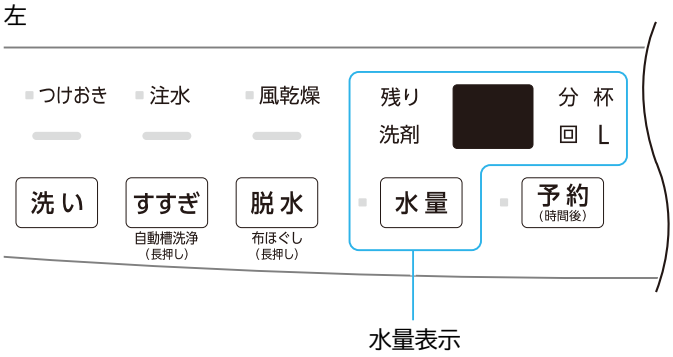
→コースの設定を変更して洗濯する P39

予約設定をする

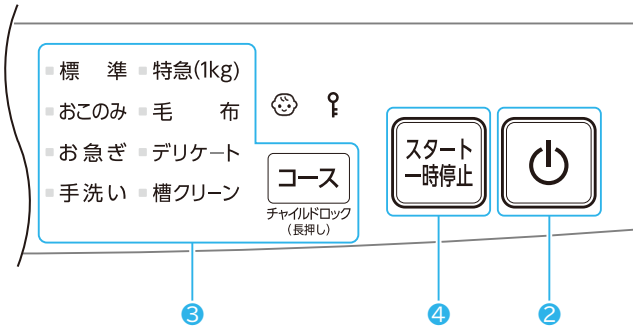
→タイマー予約洗濯 P41

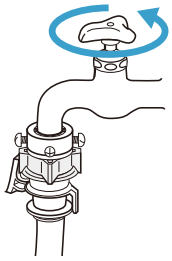
標準・お急ぎコース

左

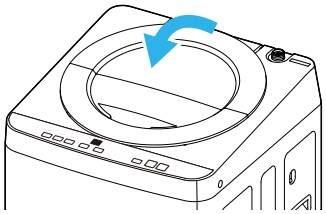


右



1	**水栓を開け、洗濯物を入れる** 
2	⏻ **を押して電源を入れる**
3	コース **でコースを選ぶ**
4	スタート一時停止 **を押す（洗濯物の量検知）**
5	**水量表示を目安にして、洗剤・柔軟剤などを入れる**

6 ふたを閉めると運転がはじまります



7 洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

8 糸くずフィルターを掃除する

ー洗濯物について

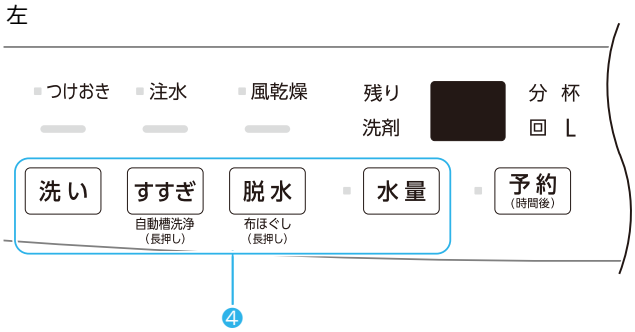
（→洗濯物について P17）

ー水量について

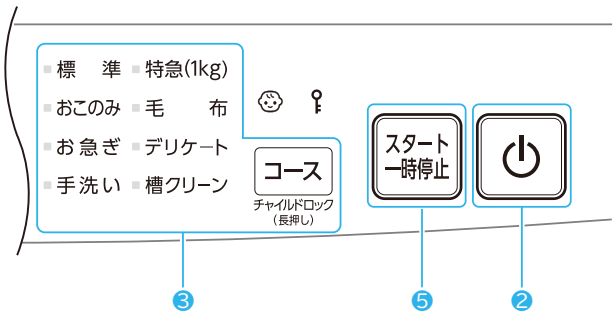
- 軽い洗濯物（化繊の衣類・シーツなど）を入れたときは、水量が低く設定されることがあります。
- また、ぬれた衣類を入れると、水量が高く設定されることがあります。
- このようなときは、水量ボタンで設定を変更してください。

おこのみコース

左

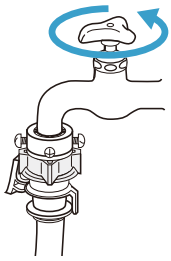


右



洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を個別に設定して洗濯できる他、それぞれの工程単独での運転も可能です。

※コースによっては設定できない場合があります。

1	**水栓を開け、洗濯物を入れる** 
2	⏻ **を押して電源を入れる**
3	コース **でおこのみコースを選ぶ**
4	**水量・洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を設定する** ・**水量** 水量 を押して設定します。（→水量を変更する P47） ・**洗い時間** 洗い を押して設定します。（→洗い時間を変更する P47）

- **すすぎ回数**
  すすぎ を押して設定します。(→すすぎ回数を変更する P48)
- **脱水時間**
  脱水 を押して設定します。(→脱水時間を変更する P48)

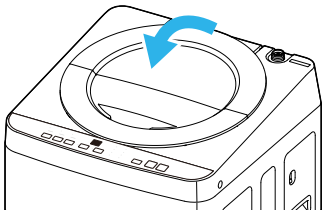
5 スタート一時停止 **を押す**

- 洗濯物の量を検知します。
- このとき運転内容を記憶します。
  ※水量と予約は記憶されません。

6 **水量表示を目安にして、洗剤・柔軟剤などを入れる**

7 **ふたを閉める**

- 運転が始まります。



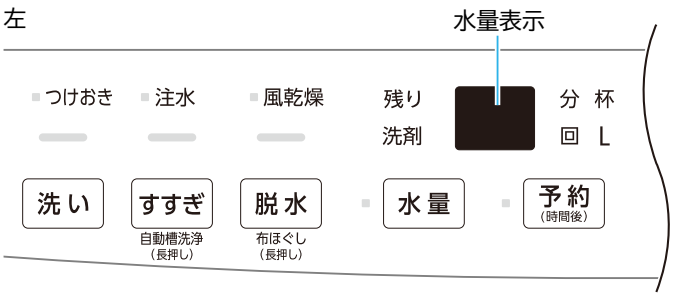
8 **洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す**

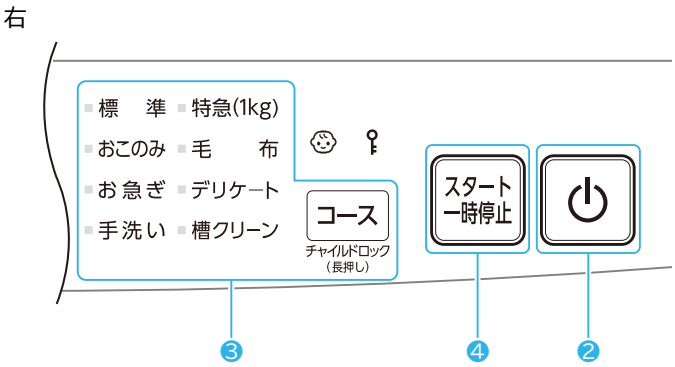
9 **糸くずフィルターを掃除する**

ー洗濯物について

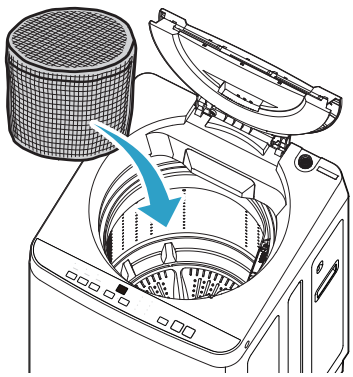
(→洗濯物について P17)

毛布コース





1 **水栓を開け、洗濯物を入れる**



2 ⏻ を押して電源を入れる

3 コース で毛布コースを選ぶ

4 **水量表示(固定)を目安にして、洗剤・柔軟剤などを入れる**

5 ふたを閉め、スタート一時停止 を押す

6 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

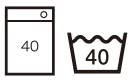
- 洗濯物を取り出すときは、ファスナーを開けて、先に毛布を取り出してください。

7 糸くずフィルターを掃除する

ー洗濯物について

毛布コースで洗濯できるもの

- **毛布**

  の表示があるもの
  

  の表示があるもの
  種類：マイヤー毛布、タフト毛布、綿毛布
  大きさ：シングルサイズ（140×200cm）まで
- カーペットカバー
- ベッドパッド
- カーテン

毛布コースで洗濯できないもの

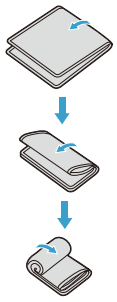
- 毛100%毛布・カーペットカバー
- 防水性のあるもの
- 化繊以外の詰め物がされているふとんなど
- 電気毛布・電気マット

※ 洗える電気毛布は電気毛布の取扱説明書にしたがってください。

ー洗濯物の入れかた

折りたたむ

- 折りたたむ前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- 長いほうを四つまたは八つに折り、短いほうに巻いてください。
  できるだけ高さを低くするように折ってください。（毛布洗い用の洗濯ネットに入れるため）

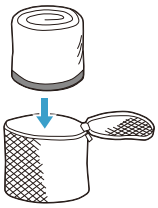


・ マイヤー毛布以外はゆるめに巻いてください。

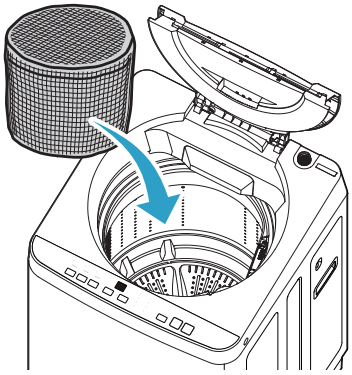
洗濯用ネットに入れる

・ 直径 41cm 以上の毛布洗い用ネットに入れて洗濯してください。

・ 縁のあるほうを下になるように毛布洗い用ネット入れ、ファスナーを閉めてください。



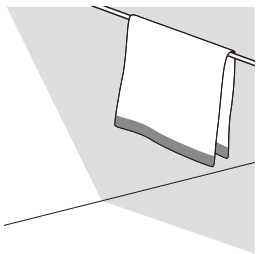
・ ファスナーを上側にして、洗濯・脱水槽に入れてください。



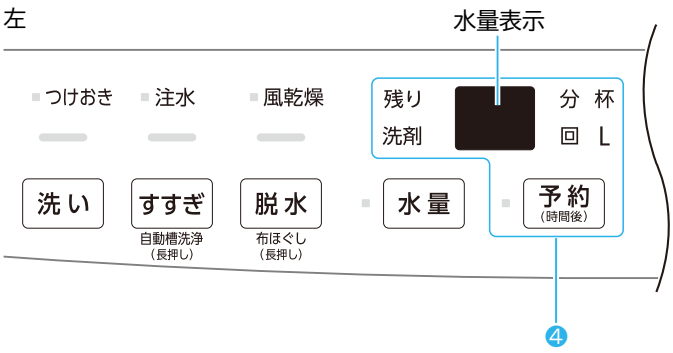
・ 洗濯物が水に浮きやすいときは、給水後一時停止して、
洗濯物を上から押さえ、十分に洗剤液をしみ込ませてください。

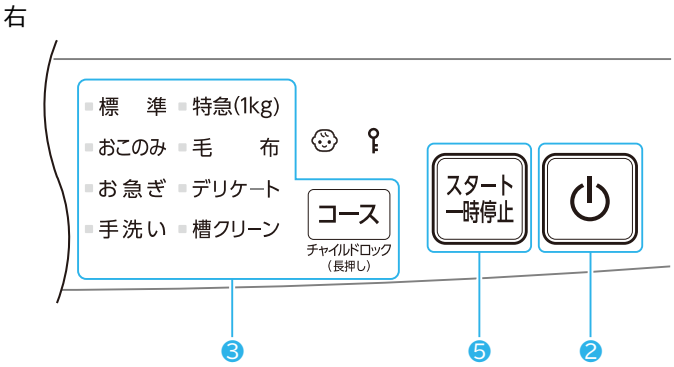
ー洗濯物の干しかた

・ 風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。



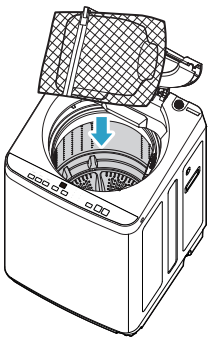
手洗いコース





1 **水栓を開け、洗濯物を入れる**

- デリケートな衣類は、洗濯用ネットに入れる



2 ⏻ を押して電源を入れる

3 コース で手洗いコースを選ぶ

4 **水量表示(固定)を目安にして、洗剤・柔軟剤などを入れる**

5 **ふたを閉め、** スタート一時停止 **を押す**

6 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

7 糸くずフィルターを掃除する

ー洗濯物について

手洗いコースで洗濯できるもの

の表示があるもの

- ウールのセーター、カーディガンなど
- スラックス、スカート、学生服類
- ブラウス、シャツ、ランジェリー類

※上記でも洗えないものがあります。

手洗いコースで洗濯できないもの

- 水につけると、形くずれ・縮み・風合いの低下を起こしやすいもの
- 皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの
- シルク・レーヨン（ポリノジックを含む）・キュプラおよびその混紡品（裏地に使われているものでも洗わないでください。）
- スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、形くずれしやすいもの
- コーティング・樹脂加工（接着剤を使用したもの）エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの
- ちりめんなどの強撚糸を使用したもの
- 毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの
- 水に浮いてしまうもの
- 防水加工されたもの
- 水で色落ちするもの

色落ちを確認する

- 白いタオルの上に衣類の目立たないところを載せ、洗剤液をしみ込ませた白いタオルでたたきます。
  タオルに色移りしていたら、洗わないでください。

部分汚れがある場合

- えり・そでなど部分汚れがあるところは、洗剤の原液をつけやわらかいブラシで軽くたたきます。

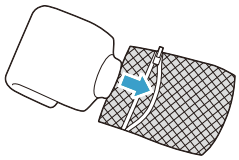
プリーツ加工のもの

- プリーツは、しつけ糸でとめてください。

ー洗濯物の入れかた

プリーツ加工のもの

- 1 枚ずつ、目の粗い市販の洗濯用ネットに入れてください。
- 衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。



平らになるように重ねて入れる

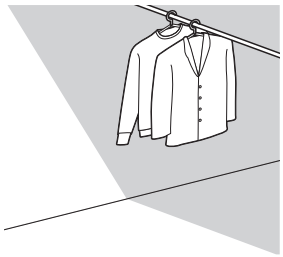
- ネットに入れたセーターなどは、汚れているほうを下にしてください。
- 洗濯用ネットを使用する場合は、他の衣類も入れてください。
  洗濯用ネットの衣類だけだと衣類が 1 箇所に片寄るため、脱水時の振動が大きくなります。

ー洗剤・漂白剤について

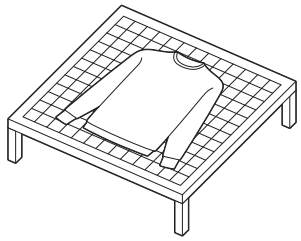
- 洗濯用液体中性洗剤を使用してください。
- 漂白剤は使用しないでください。

ー洗濯物の干しかた

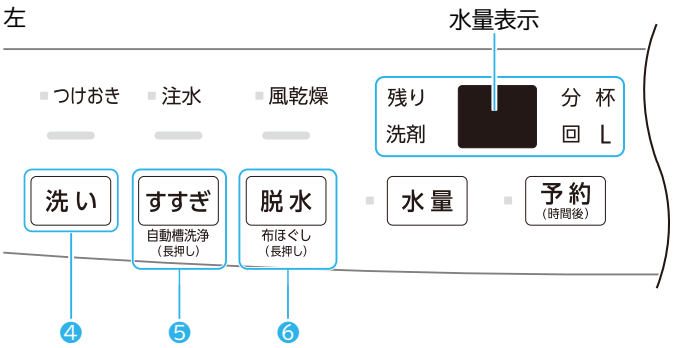
- 洗濯物は早めに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。

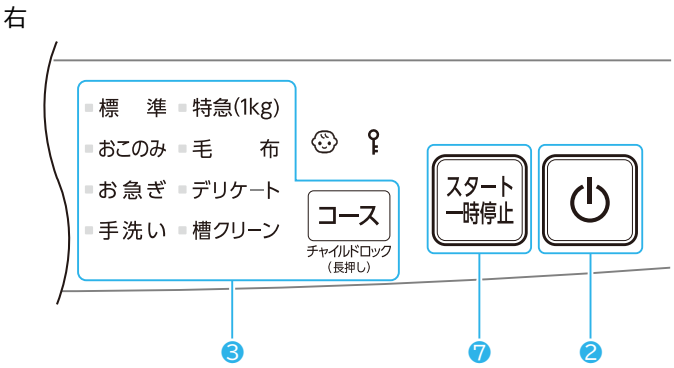


・ セーターなどは平干ししてください。



コースの設定を変更して洗濯する

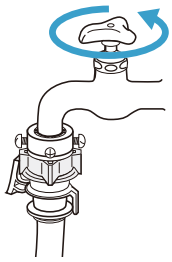




洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を個別に設定して洗濯できる他、それぞれの工程単独での運転も可能です。

※コースによっては設定できない場合があります。

1 **水栓を開け、洗濯物を入れる**



2 **⏻を押して電源を入れる**

3 **コースでコースを選ぶ**

※ 個々の設定を変更できないコースもあります。

工程の組み合わせかた

組み合わせ	手順番号
洗い＋すすぎ＋脱水	4・5・6
洗い＋すすぎ	4・5

洗い＋脱水	4･6
すすぎ＋脱水	5･6
洗いのみ	4
すすぎのみ	5
脱水のみ	6

→「運転内容の変更 P46」をご確認ください。

4 洗い で洗い時間を変更する

5 すすぎ ですすぎ回数と注水の有無を変更する

※ 注水はすすぎを念入りにします。（→運転内容の変更 すすぎ回数を変更する P48）

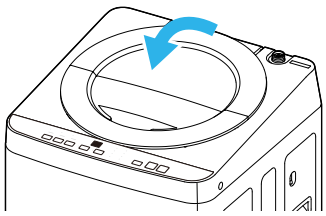
※ 洗いの工程がない場合は、最初に排水→脱水から始まります。

6 脱水 で脱水の時間及び部屋干しについて変更する

7 スタート一時停止 を押す（洗濯物の量検知）

8 水量表示を目安にして、洗剤・柔軟剤などを入れる

9 ふたを閉めると運転がはじまります



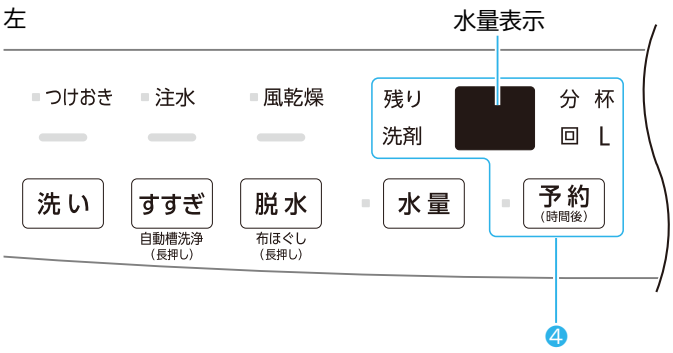
10 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

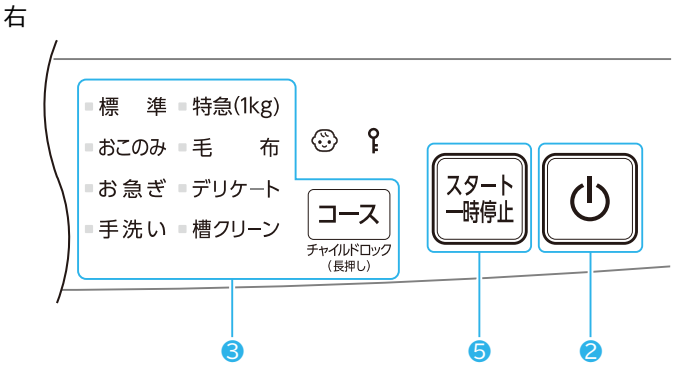
11 糸くずフィルターを掃除する

ー洗濯物について

（→洗濯物について P17）

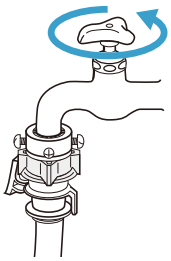
タイマー予約洗濯





※ **手洗い・槽洗浄・槽乾燥**コースでは使えません。

1 **水栓を開け、洗濯物を入れる**



2 ⏻ **を押して電源を入れる**

3 コース **でコースを選ぶ**

4 予約（時間後） **で洗濯の終了時間を設定する**

- 24 時間後まで選べます。

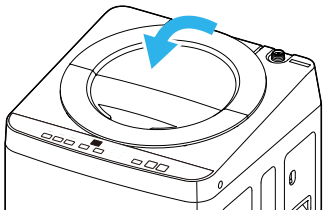
・運転時間の長いコースは設定できる最短時間から設定できます。

5 スタート一時停止 を押す(洗濯物の量検知)

6 水量表示を目安にして、洗剤・柔軟剤などを入れる

7 ふたを閉める

※ふたを閉めないと、タイマー予約運転ができません。



8 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

9 糸くずフィルターを掃除する

ー予約を取り消すには

・ ⏻ を押して、電源を切にしてください。

ー洗濯物について

(→洗濯物について P17)

コース一覧

各コースの洗濯できるもの・洗濯できないものは以下リンクからご確認ください。

→洗濯できるもの・洗濯できないもの P44

コース	洗濯できる量	タイマー予約運転	風乾燥	洗い時間
標準／おこのみ	6.0kg まで	○	○	9 分
お急ぎ	3.0kg まで	○	○	7 分
手洗い	1.0kg まで	-	-	15 分
特急（1 kg）	化繊 1.0kg まで	○	-	2 分
毛布	2.0kg まで	○	-	15 分
デリケート	3.0 kgまで	○	-	9 分

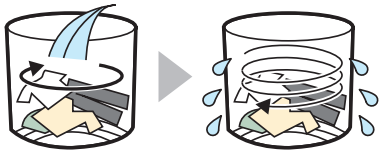
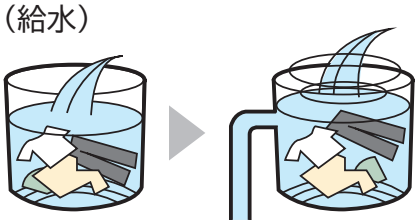
コース	すすぎ回数	脱水時間	所要時間（目安）※1
標準／おこのみ	2 回※2	7 分	36 分
お急ぎ	1 回※2	4 分	23 分
手洗い	2 回	1 分	38 分
特急（1 kg）	1 回	1 分	9 分
毛布	2 回	7 分	52 分
デリケート	2 回	1 分	32 分

※1 所要時間は、給水時間と排水時間を含みます。

※2 標準コース、お急ぎコースですすぎ回数が 2 回以上に設定されている場合、1 回目はシャワーすすぎをします。

すすぎの種類

すすぎには以下の 3 種類があります。

シャワーすすぎ		水をためずに洗濯・脱水槽をゆっくり回転させながら給水してすすぎます。
ためすすぎ		設定した水量まで水をためてすすぎます。
注水すすぎ	（給水） 	設定した水量まで水をためた後、給水しながらすすぎます。（水はあふれません。）

※「シャワーすすぎ」と「ためすすぎ」はあらかじめ設定されているので選べません。

※「注水すすぎ」を設定すると「ためすすぎ」が「注水すすぎ」に変わります。「シャワーすすぎ」は変わりません。

ー洗濯できるもの・洗濯できないもの

■標準・つけおき・お急ぎ・念入り

→「困ったときは 洗濯物について P67」をご確認ください。

■毛布

○ 洗濯できるもの	× 洗濯できないもの
・以下の表示がある毛布 ・大きさ：140×200cm まで ・カーペットカバー、ベッドパッド、カーテン	・毛 100%の毛布・カーペットカバー ・防水性のあるもの ・化繊以外の詰め物がされているふとんなど ・電気毛布・電気マット ※ 洗える電気毛布は電気毛布の取扱説明書にしたがってください。

■手洗い

○ 洗濯できるもの	× 洗濯できないもの
・以下の表示があるもの ・ウールのセーター、カーディガンなど ・スラックス、スカート、学生服類 ・ブラウス、シャツ、ランジェリー類 ※ 上記でも洗えないものがあります。	・水につけると、型くずれ・縮み・風合いの低下を起こしやすいもの ・皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの ・シルク・レーヨン(ポリノジックを含む)・キュプラおよびその混紡品(裏地に使われているものでも洗わないでください。) ・スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、型くずれしやすいもの ・コーティング・樹脂加工(接着剤を使用したもの)・エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの ・ちりめんなどの強撚糸を使用したもの ・毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの ・水に浮いてしまうもの ・防水加工されたもの ・水で色落ちするもの

■槽クリーン

ー槽洗浄

- 1か月に1回程度、槽洗浄を行ってください。
- 塩素系漂白剤は、酸性のものや液体と絶対に混ぜないでください。
- 塩素系漂白剤が洗濯・脱水槽に付着しないように、必ず給水しているときに使用してください。
- 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。

→「槽クリーン P60」をご確認ください。

ー槽乾燥

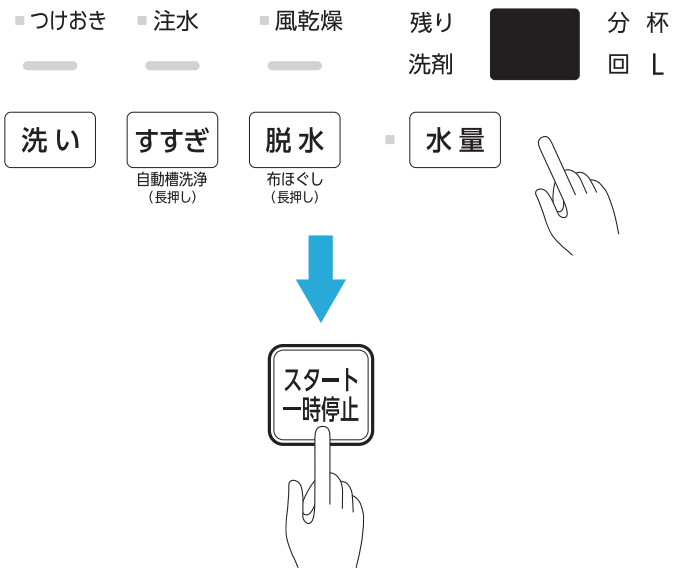
- 1週間に1回程度、槽乾燥を行ってください。
- 黒かびや洗剤かすは槽乾燥では取り除けません。槽洗浄を行ってください。

→「槽乾燥 P62」をご確認ください。

運転内容の変更

コースを選んだ後、各ボタンを押すと運転内容を変更することができます。

- コースによって設定できる内容が異なります。また、変更できないコースもあります。
- 「 洗い」「脱水」の設定時間は、実際の運転時間とは異なります。



→水量を変更する P47

→洗い時間を変更する P47

→すすぎ回数を変更する P48

→脱水時間を変更する P48

→つけおきについて P49

→注水すすぎについて P49

→自動槽洗浄 P50

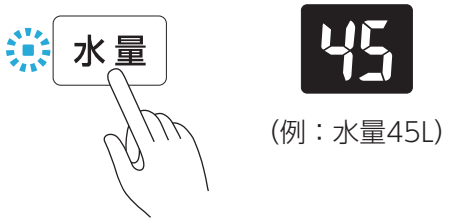
→脱水後の布ほぐし機能 P50

→風乾燥について P52

ー水量を変更する

4 段階で水量(13L～ 45L)を設定できます。

設定した水量は表示部に表示されます。



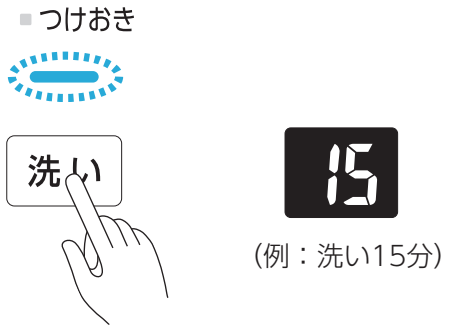
(例：水量45L)

- 13L は手動のみ設定可能です。
- 「毛布」「槽クリーン」コースは、45L のみ設定可能です。

ー洗い時間を変更する

5段階で洗い時間(0 ～15 分)を設定できます。

設定時間は表示部に表示されます。



(例：洗い15分)

- 0分に設定時はランプが消灯します。
- つけおきランプが点灯している場合はつけおき工程から運転を開始します。
- つけおき工程を追加したいときは、つけおきランプが点灯するまで、洗い を繰り返し押してください。

ーすすぎ回数を変更する

回数(0～3 回)を設定できます。

回数は表示部に表示されます。

■注水

(例：すすぎ２回)

- 0回に設定時はランプが消灯します。
- 注水ランプが点灯している場合はすすぎ工程が注水すすぎになります。
- 注水すすぎを設定したい場合は、すすぎを押して、注水ランプを点灯させてください。(→注水すすぎについて P49)

ー脱水時間を変更する

5 段階で脱水時間(0～12 分)を設定できます。

設定時間は表示部に表示されます。

■風乾燥

(例：脱水10分)

- 0分に設定時はランプが消灯します。
- 風乾燥ランプが点灯している場合は風乾燥になります。

－つけおきについて

汚れの多いものを洗濯するときに使用します。

洗濯開始前に 30 分のつけおき動作を行います。

動作中はつけおきのランプが点滅し、終了するとランプが消灯し、洗いの工程に移ります。

・ 使用できるコース：「標準」「おこのみ」「お急ぎ」「手洗い」「毛布」「デリケート」「槽クリーン」
※「槽クリーン」コースはつけおき設定の切り替えはできません。
※洗い工程がない場合は設定できません。

－注水すすぎについて

たっぷりの水で念入りにすすぎます。

通常の水量に加えて、水を加えながらすすぎを行います。

・ 使用できるコース：「標準」「おこのみ」「お急ぎ」「手洗い」「毛布」「デリケート」「槽クリーン」
※「槽クリーン」コースは注水すすぎ設定の切り替えはできません。
※すすぎ工程がない場合は設定できません。

・ 使用できるコース：「標準」「おこのみ」「お急ぎ」「手洗い」「毛布」「デリケート」「槽クリーン」
※「槽クリーン」コースはつけおき設定の切り替えはできません。
※洗い工程がない場合は設定できません。

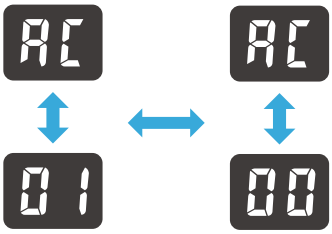
自動槽洗浄

- オン設定中は、「標準」「おこのみ」「お急ぎ」のいずれかのコース（水量が 34L 以上）で、最終脱水前に自動で槽洗浄をします。
- 脱水のみの運転の場合は、自動槽洗浄はしません。

1 ⏻ を押して電源を入れる

2 すすぎ を 3 秒以上押す

- 3 秒以上押すたびに設定が切り替わります（初期設定はオフ）



オン　オフ

※1 秒ごとに交互表示

脱水後の布ほぐし機能

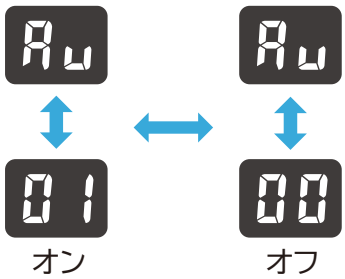
- オン設定中は、「標準」「おこのみ」「お急ぎ」のいずれかのコース（水量が 34L 以上）で、脱水終了後に 1 分間の衣類のほぐし動作をします。
- 脱水のみの運転の場合は、ほぐし動作はしません。

1 ⏻ を押して電源を入れる

2

脱水 を 3 秒以上押す

・ 3 秒以上押すたびに設定が切り替わります（初期設定はオフ）



※1 秒ごとに交互表示

ー風乾燥について

風乾燥は槽を回転させることで発生する風を利用して、水分を飛ばします。

1 時間、3 時間で設定できます。

- 1 時間：部屋干しの時間を短縮できる（容量は各コースにしたがう）
- 3 時間：化繊 2.0kg まで簡易乾燥できる

1 ⏻ を押して電源を入れる

2 脱水 を風乾燥ランプが点灯するまで繰り返し押す

1 時間に設定されます。

- もう一度押すと、3 時間に切り替わります。

- もう一度 1 時間にもどす場合は、脱水 を風乾燥が点滅するまで繰り返し押してください。

チャイルドロック・ふたロック

ー チャイルドロックについて

洗濯しているときに、幼児が誤って洗濯・脱水槽に落ちないように、チャイルドロックモードを設定することができます。

- コース を 3 秒以上押すと、チャイルドロックモードの**入**／**切**が切り替わります。
- チャイルドロックモードを**入**にすると、解除するまでふたのロックが自動でかかります。

注意

- **チャイルドロック設定中は、電源が入っていない状態でもふたロックがかかります。**
- **ふたを無理に開けると故障の原因になります。**

ー ふたロックについて

運転中はふたロックがかかります。

ふたロックを解除するには

洗濯の途中でふたロックを解除するには、スタート 一時停止 を押してください。

- 脱水の途中で スタート 一時停止 を押したときは、洗濯・脱水槽が停止してからふたロックが解除されます。

お手入れ

お手入れについて

注意

- お手入れは、必ず運転を停止して行ってください。
- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

各お手入れの説明については、以下のリンクをクリックしてください。

お手入れ時期	お手入れ箇所	お手入れ方法
毎回	糸くずフィルター P55	水洗い
汚れたら	本体外側、漂白剤注入口 P57	汚れの拭き取り
汚れたら	洗剤投入ケース、柔軟剤投入口 P58	水洗い
1 か月に 1 回程度	洗濯・脱水槽 P60	槽洗浄
1 週間に 1 回程度	洗濯・脱水槽 P62	槽乾燥

糸くずフィルター

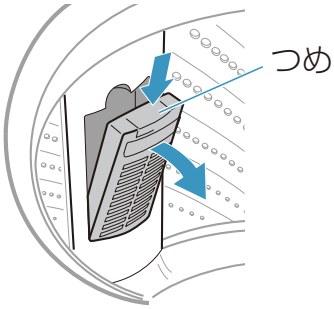
毎回

洗濯後毎回お手入れしてください。

目詰まりすると糸くずが捕れにくくなります。

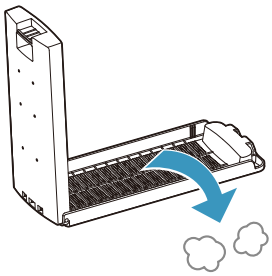
1

フィルターケースのつめを押し下げて、手前に引いて取り出す



2

フィルターカバーを開け、糸くずを取り除く

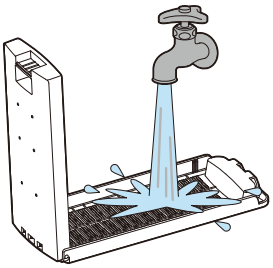


※ 糸くずのたまる量は衣類によって異なります。

糸くずがたまっていなくても、衣類に汚れが付着していなければ問題ありません。

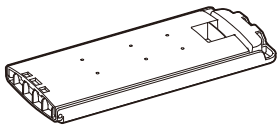
3

水洗いする



4

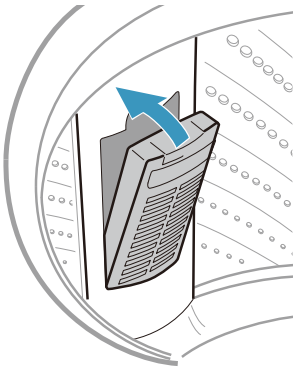
フィルターカバーをしっかり閉じる



5

元どおりフィルターケースを取り付ける

- フィルターケースの上下を確認し、下端を差し込んで、上部をカチッとなるまで押し込んでください。

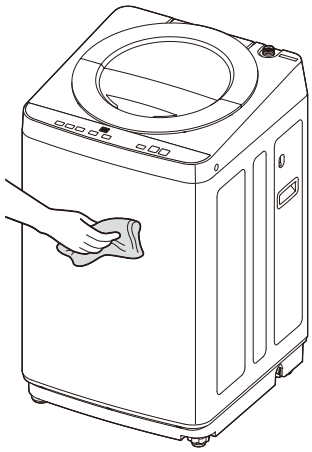


本体外側

汚れたら

よくしぼったやわらかい布で汚れを拭き取る

- 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたくしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
- 本体（特にふたや操作パネル）に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐにしぼったタオルなどで拭き取ってください。
  印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。



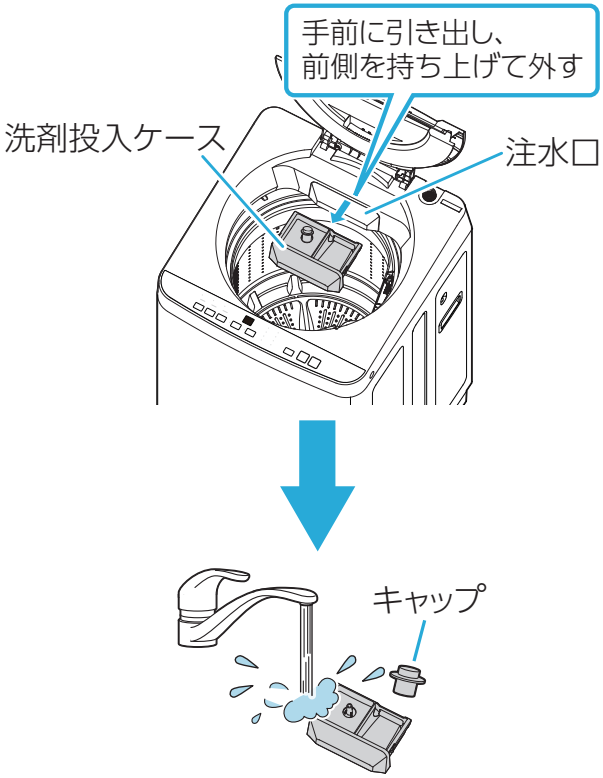
洗剤投入ケース、柔軟剤投入口

汚れたら

■洗剤投入ケース

キャップを外して水洗いする

- 洗剤投入ケースを外したときに、注水口の汚れを拭き取ってください。
- 取り付けるときは、逆の手順で取り付けてください。



■柔軟剤投入口

柔軟剤投入口は、不要な歯ブラシなどでこすり、汚れを落とす

シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

槽クリーン

1 か月に 1 回程度

注意

- 塩素系漂白剤は、酸性のものや液体と絶対に混ぜないでください。
- 塩素系漂白剤が洗濯・脱水槽に付着しないように、必ず給水しているときに使用してください。
- 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。

※衣類は入れないでください。

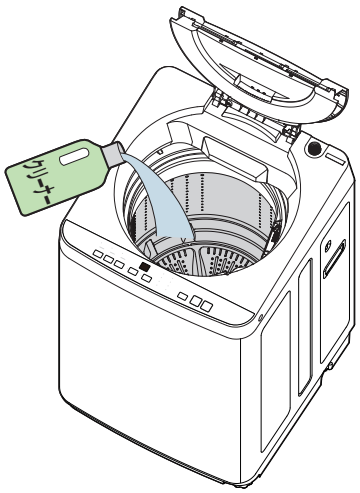
1 水栓を開け、[⏻] を押して電源を入れる

2 [コース] で槽クリーンを選ぶ

3 ふたを閉め、[スタート 一時停止] を押して給水を開始する

4 給水終了後、[スタート 一時停止] を押してふたを開ける

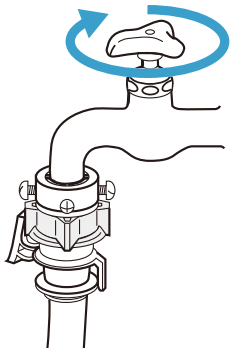
5 槽洗浄用クリーナーを洗濯・脱水槽に入れる



6 ふたを閉め、[スタート 一時停止] を押す

7 槽洗浄が終了したら、糸くずフィルターを掃除する

8 給水栓を閉じる



■槽洗浄用クリーナーについて

- 槽洗浄には市販の塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーを使用してください。
- 塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの分量については、塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの表示にしたがってください。
- 塩素系漂白剤に表示がない場合は、約 300mL 使用してください。

槽乾燥

1 週間に 1 回程度

槽乾燥をすると、洗濯・脱水槽の湿気を取り、かびの発生を抑えることができます。（洗濯物は入れないでください。）

1 ⏻ を押して電源を入れる

2 コース で槽クリーンを選ぶ

3 洗いを0分に設定
すすぎを 0 回に設定

4 スタート一時停止 を押す

- 槽乾燥が始まり、約 30 分で終了します。

- 黒かびや洗剤かすは槽乾燥では取り除けません。槽洗浄を行ってください。（→槽クリーン P60）

こんなときは

困ったときは

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

→洗濯前 P63

→洗濯中 P64

→給水・排水について P65

→洗濯物について P67

→ふたが開かない P69

■洗濯前

－洗濯がスタートしない

→電源が入っていますか？

を押して電源を入れてください。

→ふたがきちんと閉まっていますか？

ふたをきちんと閉めてください。また、ふたの下に異物がはさまっていないか確認してください。

→タイマー予約の設定になっていませんか？

すぐに洗濯する場合は、いったん電源を切り、再度電源を入れて、洗濯してください。

－電源が入らない

→電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

■洗濯中

－ブザーが鳴って、脱水が途中で停止する

→洗濯物が片寄っていませんか？

洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正しますが、修正しきれないときは停止します。ふたを開け、洗濯物の片寄りを手で直してください。（必ず、脱水が完全に停止してから行ってください。）

－洗濯物の量に水量が合っていない

→軽い衣料、水にぬれて重くなった衣料などを洗濯していませんか？

洗濯の水量は最初のパルセーターの回転で検知します。軽い衣料や水にぬれて重くなった衣料などを洗濯するときは、**水量**ボタンで水量を変更してください。

－洗濯物の量を検知しない

→洗濯・脱水槽に水が残ったまま運転していませんか？

洗濯物を取り出して脱水運転で排水をしてください。

－音が大きい、振動する

→電源コード・給水ホース・排水ホースなどが、洗濯機本体に当たっていませんか？

電源コード・給水ホース・排水ホース、本体の位置を調整して当たらないようにしてください。

→金属の小物などと一緒に洗濯していませんか？

金属の小物などは、ポケットなどから取り出して洗濯してください。

→ファスナーやボタンなどが洗濯・脱水槽の内側に当たっている可能性があります

ファスナーやボタンは閉じて洗濯してください。ファスナーやボタンなどがおもて側に出ている衣類は、裏返しにして洗濯してください。

→設置が悪く、がたついていませんか？

水平で安定した場所に据え付けし直してください。

→洗濯物が片寄っている可能性があります

洗濯物が片寄っていると、脱水時振動が大きくなります。スタート一時停止 を押して一時停止させ、ふたを開けて洗濯物の片寄りを直してください。

■給水・排水について

－水がもれる

→給水ホースは水栓と確実に接続されていますか？

給水ホースを水栓と確実に接続してください。据付説明書をご確認ください。

→給水ホースのコネクターと水栓は合っていますか？

給水ホースのコネクターと水栓の形状が合ってないときは、ホースに付属している継手を水栓に取り付けてください。据付説明書をご確認ください。

→給水ホース付属のホース継手は確実に水栓に取り付けられていますか？

給水ホース付属のホース継手は、水栓に、すき間のないように確実に取り付け、しっかりねじを締めてください。据付説明書をご確認ください。

→排水ホースが排水口から外れていませんか？

洗濯機を取り外し、排水ホースを排水口に確実に接続してください。

→排水口がつまっていませんか？

排水口を掃除してください。

－初めて使用したときに、排水ホースから水が出た

→出荷時の性能テストの水が残っていた

異常ではありません。安心してご使用ください。

－排水中にゴボゴボという音がする

→排水が空気と混ざる音がする

異常ではありません。

－排水されない

→排水ホースが持ち上がっていませんか？

排水ホースが、床面から 10cm 以上持ち上がらないようにしてください。

→排水ホースが排水口から外れていませんか？

洗濯機を取り外し、排水ホースを排水口に確実に接続してください。

→排水口がつまっていませんか？

排水口を掃除してください。

－給水されない

→すすぎから始まる運転を選んだときは、最初に排水・脱水します

最初に給水する必要があるときは、洗いから始めるように設定してください。（→洗い時間を変更する P47）

→水栓が開いていますか？

水栓を開けてください。

→ふたが閉まっていますか？

ふたを確実に閉めてください。

－洗濯の途中で給水される

→洗濯中に水量が下がると、自動的に不足分を給水する

故障ではありません。

→すすぎ中は、給水しながら運転する

すすぎ時は最初は少なめの水量で、給水しながら運転します。故障ではありません。

－脱水の途中で給水される

→洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正する

異常ではありません。給水後再び脱水になります。片寄りが修正しきれないときは、ブザーが鳴って停止します。

■洗濯物について

－洗濯物に糸くずが付く

→前回の洗濯物の糸くずがたまっている可能性があります

洗濯後毎回糸くずフィルターをお手入れしてください。（→お手入れ 糸くずフィルター P55）

→色の濃い衣料などは糸くずが目立つ

市販の糸くず防止洗濯用ネットを使用してください。

－洗濯物にごみが付く

→洗濯・脱水槽が汚れている（洗剤かす・かびなど）

槽洗浄を行ってください。槽洗浄（→槽クリーン P60）した後は、糸くずフィルターをお手入れ（→お手入れ 糸くずフィルター P55）してください。）

－洗濯物にしみがつく

→柔軟剤が部分的について、しみになることがあります

柔軟剤は直接衣類にかけないで、柔軟剤投入口に入れてください。（→柔軟剤を入れる P24）

－洗濯物が黄ばむ

→断水などの後、鉄さびなどでにごった水を使用した

断水などの後は、水がきれいになるのを待って使用してください。

白い洗濯物が黄ばんでしまったときは、市販の還元型漂白剤を使用してください。（色物・柄物には使用できません。）

－洗濯物が傷む・けば立つ

→デリケートな洗濯物を標準コースで洗っている

デリケートな洗濯物は、洗濯用ネットに入れる・手洗いコースで洗濯するなどしてください。

けば立ちやすい洗濯物は裏返して洗濯するなどしてください。

－洗濯物に洗剤が付く

→水温が低いと洗剤が溶けにくい

水温が低いときは、ふろの残り湯を使用するなどしてください。

→洗濯物が軽かったり、分厚かったりすると、水に浮いて、洗剤が残りやすくなる

軽いものや分厚いものは、下の方に沈めて洗濯してください。

→粉せっけんを使用している

粉せっけんは溶けにくいことがあります。別の容器に約 30℃のぬるま湯を用意し、溶かしてから使用してください。

（→洗剤・柔軟剤を投入するときは P23）

－色移りする

→色落ちしやすいものを一緒に洗濯している

色落ちしやすいものは、色別にして洗濯してください。

－汚れが落ちにくい

→洗濯物を入れすぎていませんか？

洗濯物の量を適正に減らしてください。（→洗濯前の準備 P21）

→洗剤が少ない可能性があります

洗濯用洗剤は、水量のランプや、洗剤のパッケージの表記にしたがって、適正な量を入れてください。（→洗剤・柔軟剤を投入するときは P23）

→洗濯物の汚れが激しい

汚れの激しい洗濯物は、つけおきコースで洗ったり、洗いボタンで洗いの時間を長くしたりして洗濯してください。

→泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは、拭き取るなどの前処理をしてください

－洗濯物がごわごわする

→パイル地のタオルなどは、パイルが寝て、ごわつく

柔軟剤を使用してください。

－洗濯物がにおう

→洗濯・脱水槽が汚れている（かびなど）

槽洗浄を行ってください。（→槽クリーン P60）

→洗濯物を生乾きのまま放置した

洗濯物は、洗濯終了後できるだけ早く取り出し、適正な方法で乾かしてください。

→においの付いたふろの残り湯などを使用した

においのする入浴剤が入っていたり、残り湯が古くなってにおいが付いたりした場合は、使用しないでください。

■ふたが開かない

－ふたが開かない

→運転中に停電しませんでしたか？

運転中に停電したときは、⏻ を押して電源を入れてください。

→チャイルドロックを設定していませんか？

チャイルドロックを解除してください。（→チャイルドロックについて P53）

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコール P76（電話をかける）へお問い合わせください。

警告

・ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

・お問い合わせ P76

こんな表示が出たときは

エラーコード	状態	原因と対処
C1	洗濯が止まる	**排水ホースが正しく取り付けられていない可能性があります。** →排水ホースの取り付け状態を確認してください。確認後、ふたを開閉して、再度 スタート一時停止 ボタンを押してください。
		排水ホースや、ご家庭内の排水口がつまっている可能性があります。 →排水ホースと排水口を点検して、つまっているものを取り除いてください。取り除ききれない場合は、アイリスコール P76（電話をかける）へご相談ください。
C2-1		**ふたが閉まっていません。** →ふたをきちんと閉めてください。ふたに異物がはさまっていたら、取り除いてください。
C2-3		**ふたのロックがかかりません。** →ふたロック部に異物がはさまっている場合は、取り除いてください。ふたがきちんと閉まってない場合は閉めてください。
C3		**洗濯物が片寄っていて脱水ができない可能性があります。** →ふたを開け、洗濯物の片寄りを直してください。 **洗濯物の量が多い可能性があります。** →洗濯物の量を減らしてください。 **洗濯用ネットに大量の洗濯物を詰め込んで洗濯していませんか？** →洗濯用ネットに入れる洗濯物は小分けにしてください。 **大きな洗濯物を洗濯していませんか？** →大きな洗濯物は毛布コースで、記載を守って洗ってください。（毛布コース P32）

		洗濯用ネットに入れた洗濯物が洗濯物の上の方にあるので、動作が不安定になります。 →洗濯用ネットに入れた洗濯物は洗濯物の下の方に入れ直してください。 **設置が悪くがたついていませんか？** →水平で安定した場所に据え付けし直してください。
C5		**水栓が開けられていません。** →水栓を開いてください。 **水道が凍結したり断水したりしている可能性があります。** →水道が復旧するまで使用を停止してください。 **給水口にごみがつまっていませんか？** →据付専門業者またはアイリスコール P76（電話をかける）へご連絡ください。
E○	**電源が入らない**	**故障の可能性があります。** →お買い上げの販売店、またはアイリスコール P76（電話をかける）へお問い合わせください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコール P76（電話をかける）へお問い合わせください。

警告

- ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ
・お問い合わせ P76

その他の情報

仕様

洗濯容量		6.0kg
製品寸法	ホース含まず	幅 500×奥行 535×高さ 845mm
	ホース含む	幅 540×奥行 535×高さ 895mm
製品質量		28kg
定格電圧		AC100V
定格消費電力		400 ／ 440W
定格周波数		50／60Hz
運転時間		36 分（標準コース）

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

－設計上の標準使用期間

JIS 基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS 基準に基づく）

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50／60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧	0.03 ～0.8MPa
	給湯・給水温度	20±15℃
想定時間	1 日の平均使用回数	1.5 回
	1 回の使用時間	標準コースの時間
	1 年間の使用日数	365 日
	1 年間の使用回数	1.5 回×365 日＝ 547.5 回／年

注意

- **製品の劣化や故障はさまざまな要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店または****アイリスコール P76**（電話をかける）**にご相談ください。**

※標準的な使用条件を超えて使用した場合に、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービス

ー保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は別途添付しています。

ー保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
ただし、一般家庭以外での使用など、保証期間内においても無償保証の対象外になる場合があります。
詳しくは保証規定 P75 を参照してください。

ー一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

理容院、美容院、病院や寮など、1 日の使用時間が一般家庭と比べて長い場合は、保証期間の対象外となります。
また、短時間で部品交換が必要になることがあります。
お買い上げの販売店またはアイリスコール P76(電話をかける)にご相談のうえ、ご使用ください。

ー保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコール P76(電話をかける)にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

ー補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ーアフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコール P76(電話をかける)にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。

2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理の際に保証書を提示してください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。

3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。

4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコール P76
(電話をかける)にお問い合わせください。

5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
⑥ 保証書の提示がない場合
⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

アイリスコール：0800-919-0770（通話料無料）

9：00～17：00（年末年始・会社都合による休日を除く）

お客様サポート：https://www.irisohyama.co.jp/support/

製品の最新情報はこちら

https://www.irisohyama.co.jp/

IRIS OHYAMA

室内・家庭用

全自動電気洗濯機

型番 TEW-M601H

据 付 説 明 書

据え付けされる方へ

- 据え付け前に、「安全上の注意」をよくお読みになり、正しく据え付けてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく取り付けてください。
- 据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
- 据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。

お客様へ

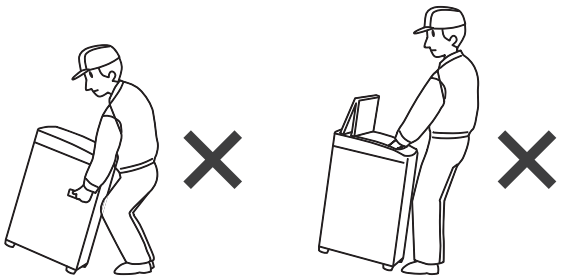
- この据付説明書は、かんたん操作ガイドとともに大切に保管してください。

もくじ

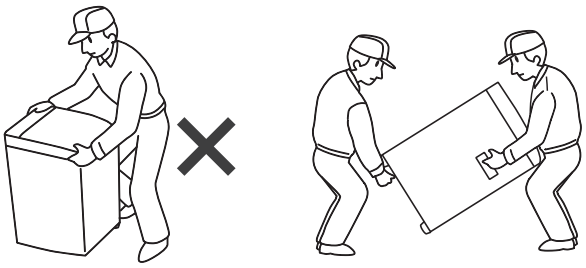
本体運搬時の注意 2
安全上の注意 3
付属品の確認 5
製品寸法 5
据え付け関連部品 6
据え付け前の確認 7
据え付け 9
①保護カバーを取り付ける 9
②排水口へ接続する 9
③給水栓へ接続する 11
④水平・がたつきの確認 13
⑤アース・電源コードを接続する 14
試運転 15
チェックシート ..... 裏表紙

本体運搬時の注意

- 本体にひざを当てて運ばないでください。
- 衣類投入口を持って運ばないでください。
  破損・変形のおそれがあります。



- 本体を引きずって移動しないでください。
  床を傷付けたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。
- 必ず、２人以上で作業してください。
- 必ず、左右側面の手掛け部を持ってください。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味

注意を促す記号です。

禁止を示す記号です。

必ず行うことを示す記号です。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

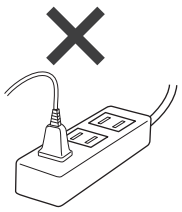
- **電源プラグのほこりは定期的に取る**
  ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- **電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**
  ショートによる火災・感電の原因になります。
- **電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う**
  火災の原因になります。

ぬれ手禁止

- **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない**
  感電・やけど・けがの原因になります。

- **電源コードを束ねて使用しない**
  過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- **洗濯機を電源プラグに押しつけない**
  据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。

- **電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない**
  ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。
- **電源コードを傷付けない**
- **電源コードを引っ張らない**
  傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
  電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- **延長コードは使用しない**
  過熱してやけど・火災の原因になります。



据え付けについて

水ぬれ禁止

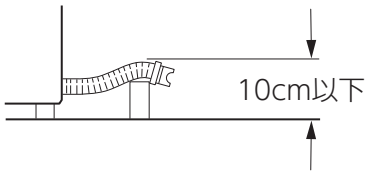
- **水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない**
- **ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない**
  火災・感電の原因になります。

アースを必ず接続

- **アースを必ず取り付ける**
  故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。
- **アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない**
  爆発・火災の原因になります。

⚠ 注意　誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

● 排水ホースは高さ10cm以内にする
● 据え付け後や移設後は、給水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もれがあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



● 排水ホースをたるませない
● 排水ホースはねじらない
排水ができなかったり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、ホースが破れるおそれがあります。

● 給水ホースと本体の給水口は確実に接続する
● 運転前に、給水栓を開けて給水ホースの接続を確認する
給水ナットなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。

● 据え付けるとき・移設するときは、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。

● 洗濯機の下に手や足などを入れない
回転部などに触れるとけがの原因になります。

据え付けについて

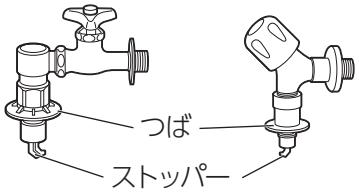
● キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
● 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。

● カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。

● 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。

給水ホースについて

● ニップル付き給水栓に接続する場合は、付属の給水ホースから継手を外して、給水栓に接続する（→P12）



● ニップル付き給水栓でない場合は、洗濯機用ニップル（市販）を取り付けるか、付属の給水ホースの継手を取り付けて接続する（取り付けかた→P11）
付属の継手は、水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けないでください。

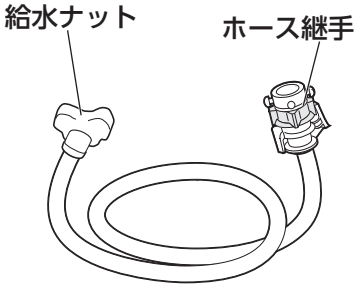
● 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

● 床近傍の給水栓に接続しない
給水ホースの重みで給水ナットがゆるんで水もれの原因になります。

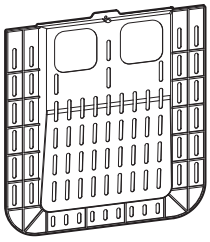
付属品の確認

最初に、付属品がそろっていることをご確認ください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコールへご連絡ください。

給水ホース（約0.8m）

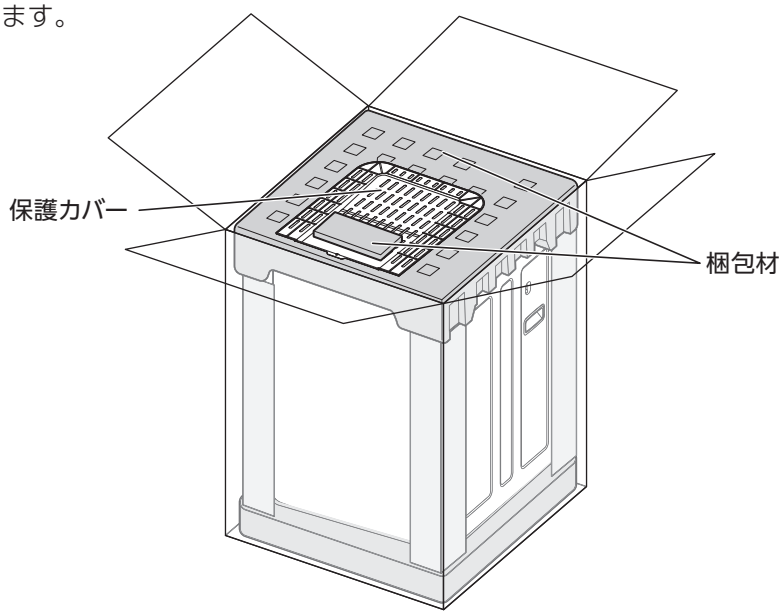


保護カバー



ねじ（1本）

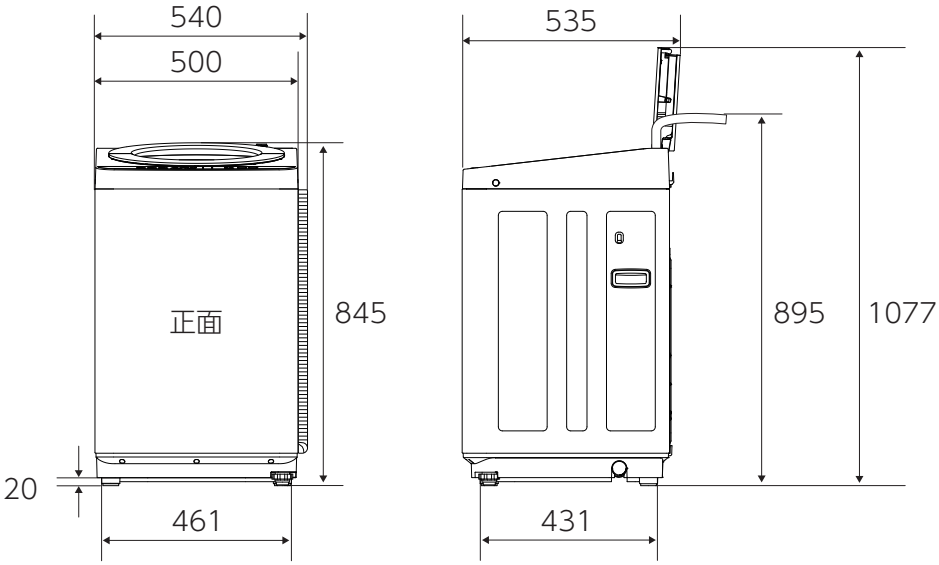
保護カバーは梱包箱の中、右図の位置に同梱されています。
捨てずに必ず取り付けてください。（→P9）



製品寸法

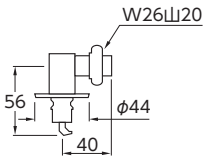
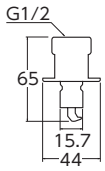
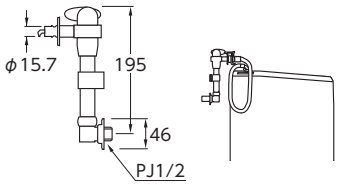
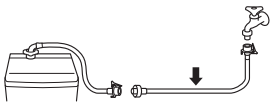
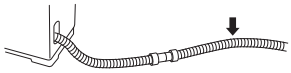
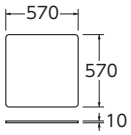
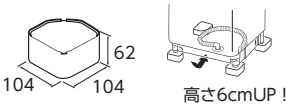
単位：mm

〈寸法図(mm)〉



据え付け関連部品

据え付けに必要な部品を用意する場合は、以下のSANEI株式会社のものを推奨します。（当社確認済み）

部品名	品番	形状	備考
洗濯機用 Ｌ型ニップル	PY124-41TVX-16		• 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 • 曲げ角度90° • 材質：青銅
洗濯機用 ニップル	PT3320		• 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 • カップリング水栓用 • 材質：黄銅
ミニセラ 洗濯機用水栓	PY1735TV-13		• 配管が洗濯機より低い場合に使用します。 • オートストッパー付き
自動洗濯機 給水延長ホース	PT17-2-1		• 全自動洗濯機用ホースの延長用 • 長さ：1m • 材質：塩化ビニル樹脂、ポリアセタール
洗濯機 排水ホース	PH64-861T-1.5		• 洗濯機排水ホースの延長用 • 長さ：1.5m • ホース内径：30mm
洗濯機用 トレー（全自動用）	PH545-570		• 材質：ポリスチレン
洗濯機 防振かさ上げ台	PH54130S		• 洗濯機の下に敷くことで、洗濯機の位置が6cmアップします。 • 洗濯機の振動を抑えます。 • 耐荷重：150kg（4個使用時） • 材質：ポリプロピレン

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け前の確認

据え付け場所

警告

- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けないでください。
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には絶対に据え付けないでください。

注意

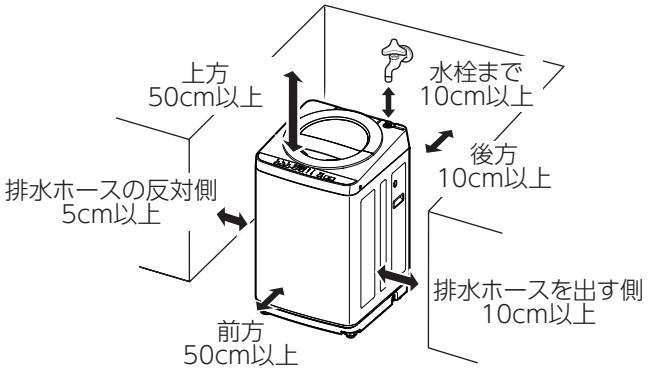
- キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けないでください。
- 高いところに据え付けないでください。
- 確実に排水できるところに据え付けてください。

- 安定した水平な床に据え付けてください。
- 次のような場所には据え付けないでください。
  - 冬季に凍結するおそれのある場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 暖房など発熱器具の近く
  - 有機溶剤を扱う場所
  - 強度のない床
  - タイルなど滑りやすい床
  - ブロック・角材・れんがの上など、不安定な場所

■据え付けに必要な寸法を確認

図のように壁から距離を空ける

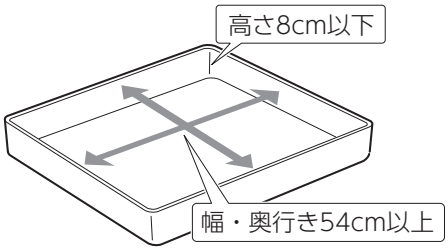
※せまい場所に設置すると、接触による騒音・振動・故障・破損の原因になります。



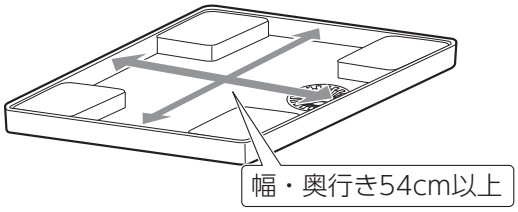
■防水パンの寸法を確認（防水パンに据え付ける場合）

防水パンの内寸は図に示す寸法が必要

・台なし防水パン



・台付き防水パン

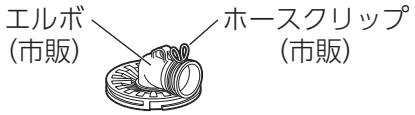


※防水パンが設置されておらず、床が防水でないときは、洗濯機用トレーを設置してください。
室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれることがあります。

据え付け前の確認　つづき

排水口

■エルボ・ホースクリップの有無を確認



※エルボ・ホースクリップがない場合

➡市販品を使用する。

給水栓

■給水ホースの接続を確認

接続できる水栓

ニップル付き水栓

付属の継手は使用せず、継手を外して、付属の給水ホースを直接接続する。（→P12）

付属の継手を使用して接続できる水栓

横水栓

給水ホースから継手を取り外し、水栓に継手を取り付けてから給水ホースを接続する。（→P11）

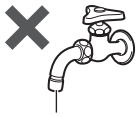
接続できない水栓

・市販の給水栓ジョイント（オートストッパー付）を使用してください。

万能ホーム水栓

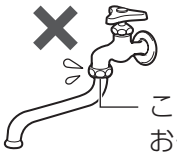
先端が細いため、給水継手が外れるおそれがあります。

つばなしワンタッチ水栓



つばがないため、給水ホースが外れるおそれがあります。

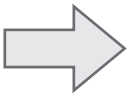
自在水栓



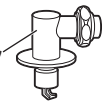
ここから水もれするおそれがあります。

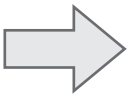
カップリング横水栓

給水継手がうまく取り付かないおそれがあります。

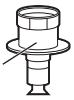


洗濯機用Ｌ型ニップル





洗濯機用ニップル



電源・アース

■コンセントにアース端子がない場合

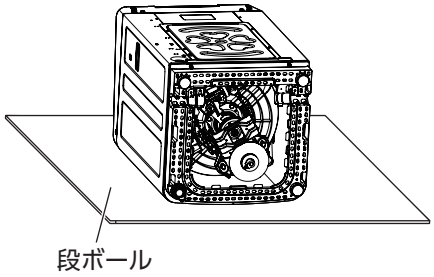
・電気店にアースの設置工事を依頼する。

据え付け

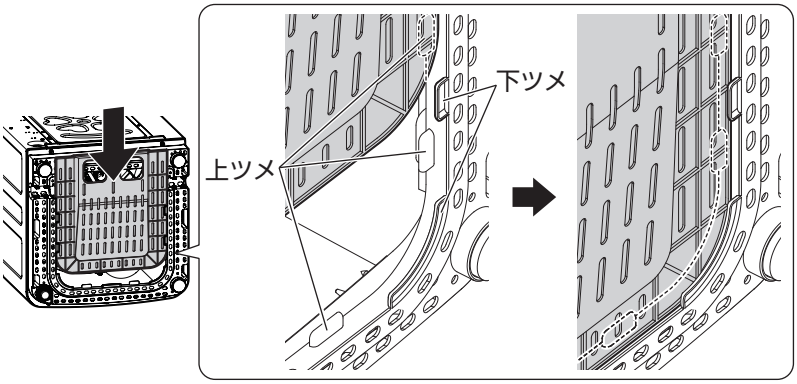
①保護カバーを取り付ける

●保護カバーを必ず取り付けてください。
本体と床面のすき間に手や足が入りけがの原因になります。

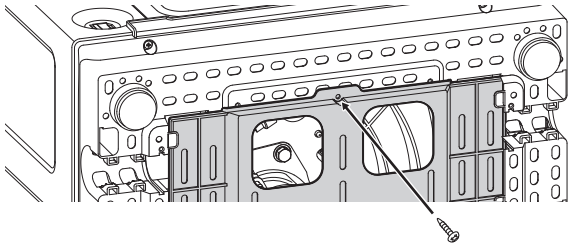
①段ボールなどを敷き、本体を静かに前側へ倒す（蓋は開かないようにテープなどで固定する）

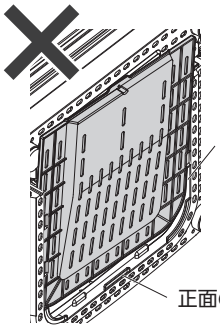


②保護カバーを図のように本体底部の上ツメ(8か所）と下ツメ（9か所）の間を通すようにして差し込む



③1か所を付属のねじで固定する





注　意

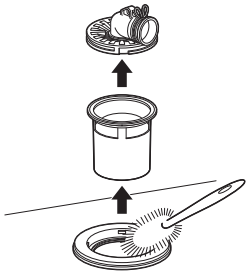
保護カバーが正しく取り付けられていないと、内部部品との接触により異音の発生、本体の故障および損傷の原因になります。

②排水口へ接続する

排水口を掃除する

お願い

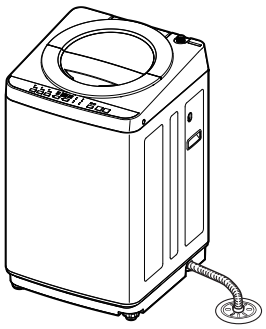
・排水ホースを取り付ける前に、排水口を取り外して掃除してください。排水口にごみがたまっていると、水もれや排水不調、においの原因になります。



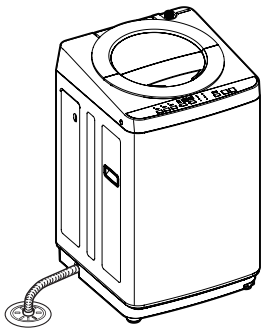
●排水ホースをたるませたり、ねじったりしないでください。
●排水ホースは、本体底面とこすれないようにしてください。
●排水ホースは、高さ10cm以内にしてください。

■下図のように排水ホースを引き出し、排水口に接続する

排水口が本体の右側にあるとき



排水口が本体の左側にあるとき

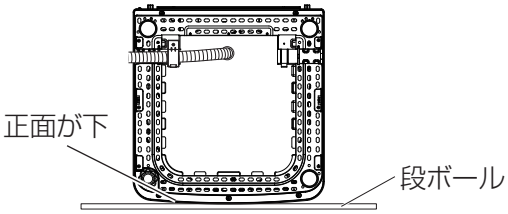


据え付け　つづき

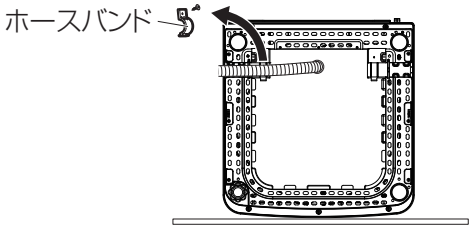
排水ホースを左側から出すとき

- 工場出荷時には、排水ホースは本体右側にセットされています。排水ホースを左側に出すには、次のようにしてください。

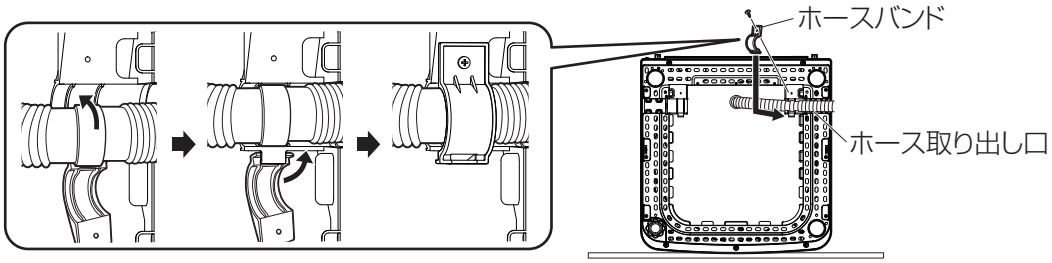
①段ボールなどを敷き、本体を静かに前側へ倒す
（蓋は開かないようにテープなどで固定する）



②ホースを固定しているホースバンドを外す



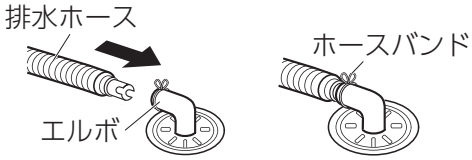
③ホースを本体左側のホース取り出し口にはめ込み、ホースバンドで固定する
※ ホースの凸部とホースバンドの凹部を合わせます。



排水口にエルボがある場合

エルボに排水ホースを差し込み、排水ホースをエルボのホースバンドでしっかり固定してください。

- ホースが本体底面などとこすれないように注意してください。ホースに穴が開くと、水もれの原因になります。
- 排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



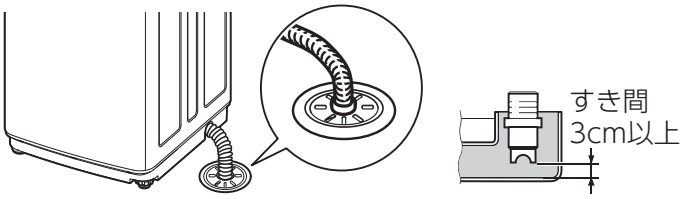
注　意

排水ホースの先端をつぶさないでください。水もれの原因になります。

排水口にエルボがない場合

排水ホースの先端を排水口に差し込みます。

- ホースの先と排水口の底の間に3cm以上のすき間を設けてください。

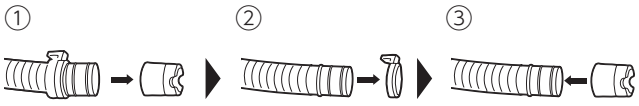


注　意

排水ホース先端のスリーブは、ホースの先端にすき間を設けるためのものです。外さないでください。

フックを外したいとき

①スリーブを外す
②ホース先端部を押さえてつぶしながらフックを抜く
③スリーブを付ける

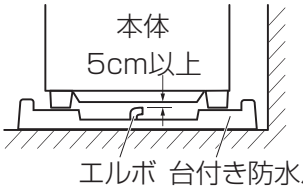


排水口が本体の下にあるとき

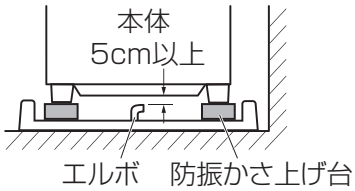
排水口への接続

- 排水口にエルボがある場合は、エルボ上端と本体底面の間に5cm以上のすき間を確保できるように、台付き防水パンなどを使用するか、防振かさ上げ台を使用して高さを調節してください。

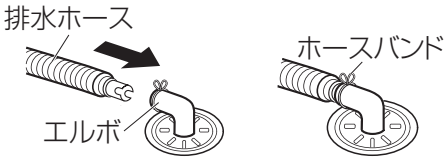
台付き防水パンの場合



台付き防水パンでない場合



※ 排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかりと固定してください。
※ 排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



- 排水口にエルボがない場合は、市販の排水トラップエルボを取り付けてください。

③給水栓へ接続する

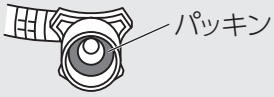
■付属のホース継手の取り付けかた（横水栓などを使用する場合）

給水ホースから継手を取り外して、給水栓に取り付けてください。

給水ナット取付時の注意点

✕ **洗濯機給水口のフィルターを取り外さない**

✕ **給水ナット内部のパッキンを取り外さない**

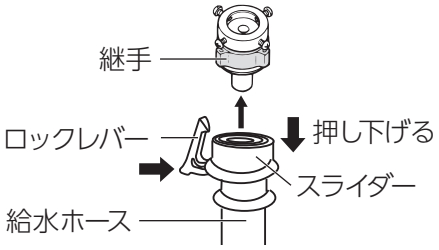


✕ **ホースを内側に垂らさない**

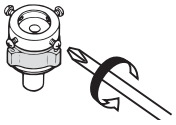
※ フタが開かなくなるおそれ

1. 給水ホースから継手を取り外す

給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダーを下げきり、継手を引っ張って外してください。

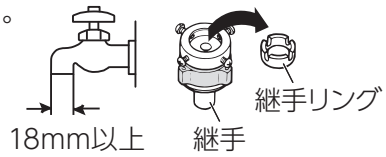


2. 継手のねじ（4本）をゆるめる



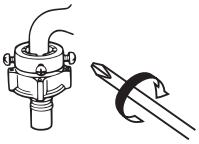
ポイント

給水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外す。

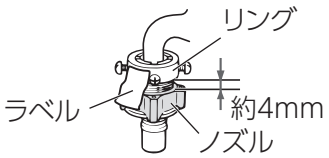


3. 給水栓に継手を差し込み、ねじで取り付ける

給水栓の口の中心と継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかり締めてください。



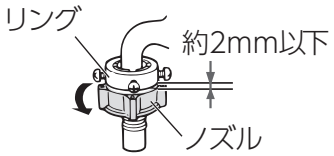
4. 継手リングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす



※ ノズルの回転防止のためラベルが貼り付けてあります。
ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させてリングとノズルの間を調節してください。

5. ノズルを右に回して締める

ノズルとリングの間が約2mm以下になるように締めてください。



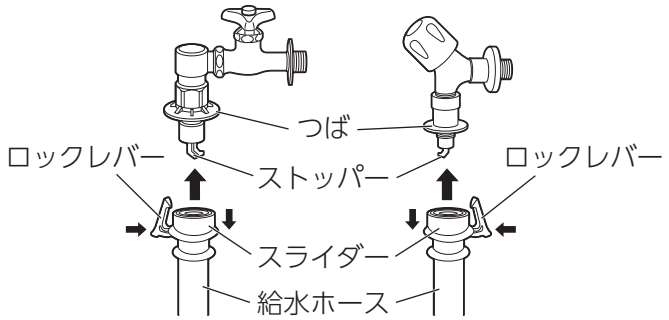
お願い

- 使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。
- 付属のホース継手は、時間が経つとゆるんでくることがあります。水もれがないか、定期的に点検して、増し締めなどを行ってください。
- ひんぱんに水もれしたり、水もれの可能性があるときは、ニップル付き給水栓の使用をおすすめします。

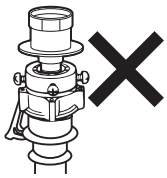
■接続のしかた

ニップル付き給水栓に接続する場合

付属のホース継手を取り外し、スライダーを下げきって、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。

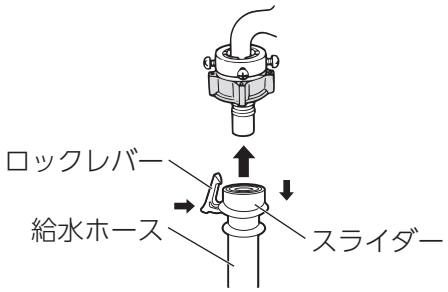


※ニップル付き給水栓に接続する場合は、必ず付属のホース継手を取り外してください。水もれの原因になります。



付属のホース継手を使用する場合

スライダーを下げきって、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。

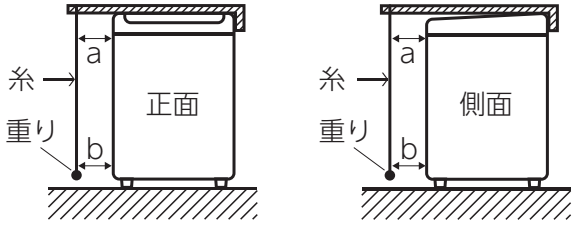


- スライダーを下げきっていないと、入らない場合があります。
- 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。
- 本体の電源を入れずに給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

④水平・がたつきの確認

1. 本体が水平になっているか確認する

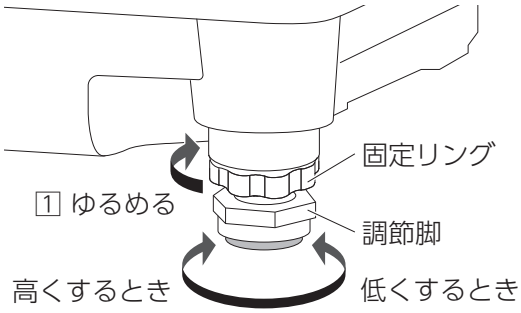
正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですき間に1cm以上の差がないようにしてください。



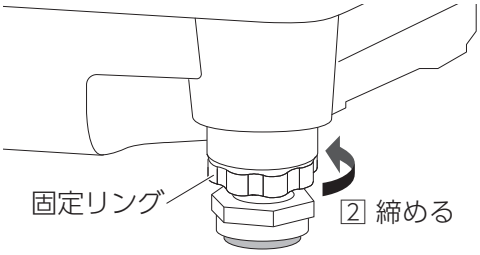
aとbの差＝1cm以内

2. 右前の調節脚を回して、がたつきがないように調整する

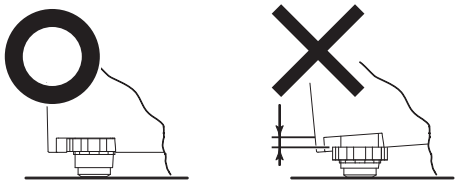
①固定リングを矢印方向1に回してゆるめ、調節脚を回してがたつきを調整する。
・10mmまで高さ調節ができます。

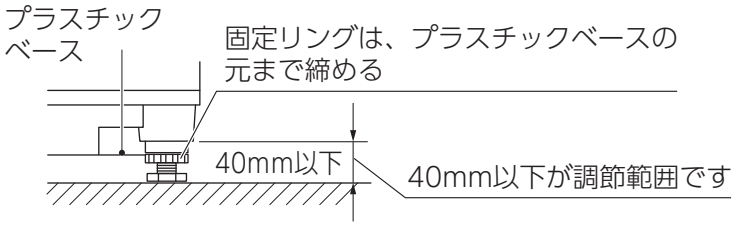


②調節が終わったら、固定リングを矢印方向2に回して固定する。

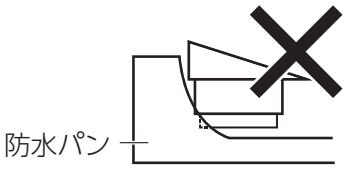


調節脚は垂直にねじこんでください。
調節脚を斜めにねじこむと、製品が傾くので、故障の原因となります。





③本体底部が、防水パンのふちやコーナー部などに乗り上げたりしていないことを確認してください。



3. 本体の対角線上の角を押して、がたつきがないことを確認する

がたつきのあるときは、再度調整してください。

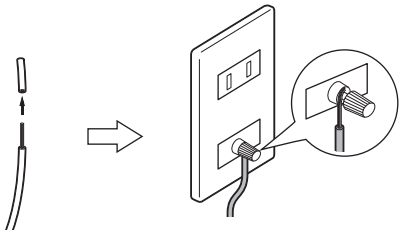
⑤アース・電源コードを接続する

■アースを接続する

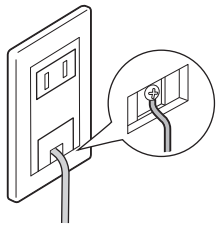
- アースを必ず接続してください。
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

アース端子付きコンセントがある場合

アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

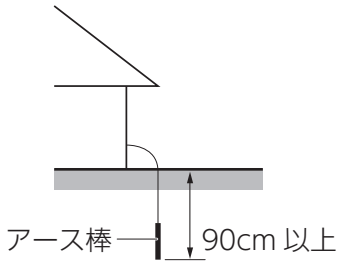


・ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



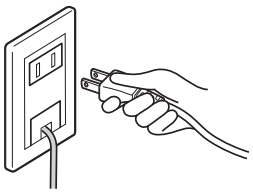
アース端子付きコンセントがない場合

アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



■電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードは束ねないで、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押し付けないようにしてください。
- 電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源コードを、引っ張ったりして傷つけないでください。
- 延長コードは使用しないでください。
- 電源コードを棚や本体などで挟まないでください。



試運転

■試運転する

次の手順で試運転してください。

1 電源プラグを差し込み、給水栓を開く
- 給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。

2 ふたを閉め、**電源 切**／**入**ボタンを押して電源を入れ、**スタート**／**一時停止**ボタンを押してスタートする
- パルセーターが左右に回転して、水位が表示され、給水が始まります。
- **ふたロックランプ**が点灯して、ふたがロックされることを確認してください。

3 **水量**ボタンを押し、一番上の水位を選ぶ
- 約5分間運転し、異常音・水もれがないことを確認してください。

4 **スタート**／**一時停止**ボタンを押して、一時停止する
- ふたを開けて、ふたロックが解除していることを確認してください。

5 **電源 切**／**入**ボタンを押して電源を切り、再度押して電源を入れ直す

6 ふたを閉めて**脱水**ボタンを押し、**スタート**／**一時停止**ボタンを押してスタートする
- ふたがロックされます。
- 排水が始まります。排水口・排水ホースから水もれがないこと、にごった水が出ないことを確認してください。
- 脱水が始まったら、異常音・異常振動がないことを確認してください。
- モーターは通電による制御をするため、モーター音は一定ではありませんが、異常ではありません。

7 **スタート**／**一時停止**ボタンを押して一時停止する
- 約70秒でふたロックが解除されることを確認してください。

8 **電源 切**／**入**ボタンを押して、電源を切る

チェックシート

・据え付け完了後、各項目を確認して、□の中に✔印を入れ、この据付説明書をお客様に渡してください。

□ AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用しています。

□ コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグの傷みはないことを確認しました。

□ アース線の接続は確実に行いました。（感電防止のため、アースは必ず接続してください。）

□ 給水ホースの、給水栓・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。

□ 試運転して、にごった水が出ないことを確認しました。

□ 排水口に糸くずなどのごみがたまっていないことを確認しました。

□ 排水ホースが、本体の下にはさまったり、よじれたり、つぶれたりしていないことを確認しました。

□ 排水ホースの高さが10cm以内であることを確認しました。

□ 本体が水平になっていることを確認しました。

□ 本体の対角線上の角を押したときに、がたつきがないことを確認しました。

□ 調整脚の固定リングをしっかり締めたことを確認しました。（本体底面と固定リングの間にすき間がないこと）

□ 試運転して、異常音、水もれ、電源コード・排水ホース・給水ホースの本体への接触はなく、正常に動作することを確認しました。

□ 保護カバーの取り付けに異常が無いことを確認しました。

確認日：　　年　　月　　日

確認者：

工事（施工）会社名：

問い合わせ先　電話番号：

アイリスオーヤマ株式会社　〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ https://www.irisohyama.co.jp/

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）
アイリスコール 0800-919-0770
9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）
●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

240726-RKK-YSU-01